

# とらやまのネコ

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>

2008 夏号  
NO.41

公開ヤマネコが代わりました！  
「我が輩の名前募集中」

公開ヤマネコの  
交代のお知らせ！



皆様に見てきたおぼあちゃんヤマネコの「つつじ」が、この程高齢のため引退することになりました。一年以上の間、ツシマヤマネコがどんな動物なのか、またヤマネコの厳しい現状を伝えてくれました。現在、「つつじ」の後任として、福岡市動物園で産まれた四歳のオスのヤマネコを公開しています。このヤマネコは太い大きなしっぽが特徴で、飼育している中でも比較的人間に慣れている好奇心旺盛なヤマネコです。たまに池に入ったりして、来館者を驚かせてくれています。このヤマネコは飼育下繁殖個体群の中に血縁個体が多く、遺伝的に繁殖に参加する優先順位が低いため、後任として選ばれました。

現在公開しているヤマネコにはまだ名前がついていません。二〇〇八年八月三十一日まで、来館された方のみ名前募集を実施しています。皆様、センターに来館された折には、是非公開しているヤマネコを見て素敵な名前を考えてあげてください。

# やまねこ News



百六十、百六十一、百六十二日と、記録が増すことに喜びを感じるのは我々センターの職員だけでしょうか。その喜びをみなさんにも感じて欲しい、事故の発生をタイムリーに伝えたいという思いから「ツシマヤマネコ交通事故ゼロ記録看板」を鈴木石油（株）佐須奈給油所と対馬ヤマネコ空港に設置しました。センターがオープンして以降、ヤマネコの交通事故が四十一件発生。ゼロ記録の最長は四百一十一日、最長は二日でした。ちなみに、平均九十六日で記録がリセットされています。



ゼロ記録看板除幕式(鈴木石油)

夏はヤマネコの仔育てシーズン。過去、八月に幼獣が事故に遭ったことが一件ありました。母ネコは仔ネコに餌を捕ってあげたり、社会勉強させたり、仔育てに大忙しなので、です。夏場の運転も気をゆるめることは出来ませんよ。まずは、交通事故ゼロ記録千日を目指して安全運転しましょう。

目指せ！  
交通事故ゼロ記録千日

## 舟志の森で

ネズミ調査開始♪

現在、上対馬町舟志区にて、市民、ボランティア、企業、行政が一丸となって、ツシマヤマネコをはじめとする対馬の野生生物に優しい森づくりを行なっています。センターでは、森づくりの結果、ヤマネコの餌動物となっているネズミ類が増えているのか調べはじめました。調査はボランティアのみなさんと協働して行なっており、舟志区民の方の中には毎回調査に参加してくださる方もいます。この調査では、間伐する予定のある植林地に調査区を設定して、間伐する前と間伐した後ではどのくらいネズミの数が変化しているのかを、平成二十年五月から平成二十二年三月まで、二年間にわたって行なう予定です。見事、間伐した後の森でネズミが増えるといいのですが・・・結果は来年までのお楽しみです☆

長い間放置された森は暗く、多くの生き物にとって暮らしにくい環境なのです。計画的に間伐することで様々な生き物が暮らしやすい環境になります。興味を持ってください。



舟志ネズミ調査隊！

## 職員日誌②『夏休みの宿題は・・・』

いよいよ夏休みに入りましたね。皆さん、夏休みの宿題は進んでいますか？

飼育中のヤマネコたちは、毎日のこの暑さアバチ気味ですが、元気で頑張っています。

それはそうと、小・中・高校生の皆さん、自由研究の題材は、決まりましたか？もしまだなら対馬にしかないヤマネコ「絶滅危惧種のツシマヤマネコ」を題材にするというのはいかがでしょうか？

センターには、資料・写真などたくさんありますし、センター職員に相談して聞くこともできます。新しく公開しているヤマネコにも会え、公開中のヤマネコは写真撮影（フラッシュは禁止）もできます。

楽しく自由研究が、進められると思います。これや一石二鳥というものは、ないでしょうか？皆さんのおこしをお待ちしています。



展示解説員：あひる  
(出身地：対馬市)



センターの歴史を一番知るスタッフ！受付にいる笑顔の女性があひるさんです。

### ヤマネコ飼育員のヤマネコクイズ!

●現在のツシマヤマネコの生息数は？（答えは次号を見てください!）



# 対馬の環 News



## ◆田ノ浜地区・佐護地区 田んぼの学校開校♪

五月二十七日に佐護小中学校で、六月一日には田ノ浜で『田んぼの学校』が開校されました。これまでに佐護の『田んぼの学校』では「泥んこ学習」「田植え体験」「生き物調査」を行いました。子供たちは田んぼで泥だらけになりながら、田んぼの温かさや昔の人の苦勞を体験しました。また、田んぼの生き物調査を通して、田んぼがお米だけでなく多くの生き物を育てていることを学びました。

田ノ浜の『田んぼの学校』では、大人も子供も参加して古代米など五種類のお米をヤマネコの足型になるように手植えをし、その後クサガメやメダカなど田んぼの周りに棲んでいる生き物の観察をしました。



泥んこ学習(佐護小中)



田植え体験(田ノ浜)

## 守ろうたくさんさんの命、 やめようとらばさみの使用

みなさん、「とらばさみ」というわなをご存じでしょうか？ 獣を捕獲するための鋼鉄製の器具で、獣が中央の板を踏むとバネの支点がはずれて脚を挟むという仕掛けのものです。対馬ではかなり古くから使われてきた伝統的な器具です。

現在、狩猟でのとらばさみの使用は法律で禁止されていますが、所持や購入は個人の自由です。したがって、動物と人が安心安全に暮らせる社会を築けるか否かは、みなさんご自身の意識に大きく左右されます。とらばさみを「買わない・持たない・使わない」この三原則が重要です。

環境省・長崎県・対馬市では、「どうぶつたちの命を守ろう！ とらばさみ回収キャンペーン」を八月一日から三十一日まで実施します。回収にご協力いただける方には、とらばさみ一個につき五百円の協力金をお支払い致します。このキャンペーンを機会に是非回収にご協力ください。



とらばさみ

対馬回収は、上島町中山、仁田ノ内、深山、志古、川口、安部、湯、瀬田一、瀬田二、御所、豊津、越前、志多留、田ノ浜に担任まいの方のみを対象とさせていただきます。(担当:前田)

【注】多くの対馬の動物がとらばさみによって命を落としています。



A-レンジー  
前田がゆく

## 対馬の守人 鈴木裕明さん

[-住友大阪セメント株式会社  
海洋製品チームリーダー-]

「対馬の磯焼けの主な要因は海藻を好んで食べるバリやヒチクアレなどの南方系の魚が増えたからでしょうね。それは地球温暖化の影響なのかもしれません。もちろん、温暖化、公共工事、森林の荒廃など複数の要因が複雑に絡み合っているのでしょう。対馬では豆蔵から伊奈までの西海岸がやられてしまっています。」

今回の対馬の守人である鈴木裕明さんは対馬の海の変化をこう話す。鈴木さんは、対馬で進む磯焼けの原因究明と藻場の回復に励む企業マンだ。磯焼けが起きると、藻場の回復は困難とされる。そこで鈴木さんは、母藻をネットで囲い保護増殖するなど、人工的な藻場の回復を試み、大きな成果を上げている。

住友大阪セメント(株)と言えば、ツシマヤマネコが安心して暮らせる環境づくりを行っている「希志の森づくり」を全面的にサポートしてくれている大企業。鈴木さんは、希志の森植樹祭にはかかさず参加し、陸の森を守るまなざしも忘れない。希志の森では「猫」と「魚」の縁を深く感じているという。



(福岡県在住、46歳)

### 用語補足

●磯やけ・・・海藻が極端に減少し、岩石が露出する現象をいう。磯が焼け跡のようになることからそう呼ばれている。

# センター News



## イベント報告&情報

### ネズミの時間



センター職員によるアカネズミの説明

### 虫を捕まえて 標本をつくろう!



境先生  
豆飯崎園地での虫取り風景

### 夏休みの宿題お助け講座 『自由研究お助け隊』

8月20日(水) 13:00~16:00

会場①: 豊玉地区公民館  
会場②: 上対馬地区公民館  
参加費: 無料

夏休みの自由研究の相談やヤマネコについての質問を受け付けます。たくさんのお友達のおしごとお待ちしています♪

※センターでは夏休み期間  
休館日にも対応します。



2008年4~7月までのセンター利用学校  
☆加志マ中学校 ☆佐須奈中学校 ☆比田勝中学校  
☆佐護小中学校 ☆豊玉小学校 (PTA) ☆豊小学校 (PTA)

## ツシマヤマネコ応援団団員募集

変りゆく対馬の自然を見過ごしたくない、自分たちの手で何かをしたい……。ツシマヤマネコ応援団は、そういう思いを持つ市民が集まり、平成15年4月に設立されたボランティアグループです。

応援団は、0歳から70代まで多様で個性あふれる顔ぶれで構成され、無理なく楽しくを合い言葉に、森づくりやセンターのサポート、普及啓発活動などに取り組んでいます。

### 【お問い合わせ・入会のお申込】

ツシマヤマネコ応援団事務局

〒817-1603 長崎県対馬市上県町樟崎公園 対馬野生生物保護センター内

TEL/FAX: 0920-84-5577/5578 E-mail: owcc97@yahoo.co.jp

正会員: 年間2000円 (一世界のうち一人が会員の場合はその家族の会員費は一人300円です。)

賛助会員: 一口5000円



(担当: 前田)

## ツシマヤマネコ寄付条例制定

平成20年度第2回対馬市議会定例会にて、ツシマヤマネコの保護活動を支援するための基金を設立するツシマヤマネコ寄付条例が制定されました。

今後、寄付していただいたお金はツシマヤマネコの保護及び対馬の自然環境を保全することを目的に使用されます。

(問い合わせ先: 対馬市地域振興課 0920-53-6111)

### 編集後記

暑い日が続いております。皆さまいかがお過ごしでしょうか? とらやまの森がリニューアルして2号目となります。編集担当としては皆さんのご感想など聞かしていただけたら嬉しいなと思います。よりよい季刊誌となるようにご協力お願い致します。

(うらやま)



今日の一枚  
対馬のアリモドキ  
名前にはツシマ  
入るとあり、世界で  
対馬にしか生息しな  
い昆虫です。  
頭と胸、翅の縁の金  
星模様がとてもきれ  
いな昆虫です。

とらやまの森 No.41 2008 夏号



★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は閉館し、その翌日が休館日となります。

# とらやまの森

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>

2008 秋号  
NO.42

よろしく!

3代目

公開ヤマネコの愛称が決まりました!  
「我が輩の名前は福馬(ふくま)！」

公開ヤマネコの愛称決定

命名者を表彰!



二〇〇八年六月十日から八月三十一日まで  
に当センターを訪れた方々から募集をして  
いました三代目公開ヤマネコの愛称が決  
定しました。名前は「福馬(ふくま)」。

「福岡市動物園で生まれ、対馬で育った」  
ことが名前の由来です。応募総数六一二件  
の中からセンター職員が厳正に選考し、決  
定しました。「福馬」と名付けてくれた人  
は三名、そのうち対馬在住の小島拓弥さん  
を当センターに招き、九月二十八日(日)  
に感謝状及び粗品の贈呈式を行いました。  
小島さんは福馬に対して「元気で頑張って  
ほしい」と励ましの言葉をくださいました。  
その他にも、たくさんの方々が素晴らしい  
名前を考えてくださいました。この場を借  
りて、お礼申し上げます。新しい名前が付  
いた今、福馬は毎日元気に過ごしています。  
若く、やんちゃなところも時折見せてくれ  
る立派な三代  
目の福馬にぜ  
ひ会いに来て  
下さい。



福馬の名付け  
親の一人である小  
島さん。

# やまねこ News



佐護で保護された  
ヤマネコ死亡する。



九月二十三日、秋分の日の午後四時頃、地域の住民の方から田んぼにヤマネコがうずくまっているから助けて欲しいとの連絡がありました。急いで駆けつけたところ、確かにじつとして動きません。本来、人前に出てくることが無いヤマネコが白昼堂々、大勢のギヤラリーの前で逃げない所を見ると余程のことだな...と思いました。

捕獲用のタモ網をもって保護に向かいましたが、5m程まで距離を詰めたところでヤマネコは走って逃げ出しました。田んぼに足をとられながらも何とか保護し、急いでセンターに搬入しました。しかし、着いたときにはもう息をしませんでした。

死亡したヤマネコは体重二八八〇gの年老いた雄で解剖の結果、死因は『肺を患い膿が気道をふさいだため』ではないかと診断されました。かなりの老齢なヤマネコで大往生だったと思います。これまでにくさんの子孫を残し、この年になるまで頑張って生きてきたヤマネコだっただけに残念な気持ちと感謝の気持ちでいっぱい。お疲れさま！



田んぼにうずくまるヤマネコ (注) 〇内がヤマネコ

☆☆チカチカ光っています！  
ヤマネコ飛び出し注意！☆☆

対馬島内には、『ヤマネコ飛び出し注意』『事故多発』などと書かれた警戒標識が四十六基あります。それらの標識は、過去にツシマヤマネコの交通事故が起きたり、今後、交通事故が起きそうなどに設置されています。しかし、時間の経過とともにドライバーのみなさんにとっては見慣れた存在となってしまう、特に注意して運転するという方は少ないのではないのでしょうか。

そこで、みなさんの安全運転の意識を高めるべく、警戒標識にチカチカ光る点滅灯を取り付けました。点滅灯は特に交通事故が起きる危険性の高い箇所三十一基に取り付けました。

交通事故は、ドライバー側の要因、ヤマネコの生態的な要因、道路の構造や周囲の環境的な要因が複雑に絡み合って発生します。ドライバーが注意すること、多くの事故を回避できると考えています。点滅灯があるところは注意をして運転しましょう！

こんな時にも注意  
夕方・明け方  
秋から冬の時期



雨の中の点滅灯の取り付け作業

## 職員日誌③ 『師走にご注意...』



1年で最もあわただしい師走の時期となりました。あれもしなければこれもしなければと思いい中途半端な事はかりです。  
ところで、秋から冬にかけてヤマネコの親離れの時期にもあたり、この時期はヤマネコの交通事故が大変多くなります。  
年の瀬であわただしい時期ですが、ヤマネコにもやさしい運転をして下さいね。  
尚、公開中の福馬くんも元気に動いています。特に午前中は、観察室の窓の近くまで来て、いろんなポーズをとってくれています。  
皆さん、カメラを片手にセンターにあそびに来て福馬くんのベストショットを撮りましょう。  
ちなみに、私がとった福馬くんのベストショットはこちらの2枚です。

解説員がとったヤマネコベスト2



「見返り美猫♪」



「にゃんだ!このやろう!」

展示解説員: 田代  
(出身地: 対馬市)



当センターが誇るスーパー解説員。地元の人間ならではの解説で大人気!

No.41のヤマネコ・クイズ!の回答

●現在のツシマヤマネコの生息数は? (A.80~110頭)



# 対馬の環 News



稲も人も生物も田んぼで  
すくすく育ちます!



稲刈り作業後の集合写真(佐護)



大きな稲束を抱える参加者(田ノ浜)

◆田ノ浜地区・佐護地区  
田んぼの学校収穫祭♪

今春から上県町田ノ浜地区と佐護小中学校で実施している田んぼの学校で稲の収穫体験が開催されました。十月十九日、田ノ浜地区の田んぼの学校では、お米の色が違う五種類の稲穂が見事に実り、約六十人の参加者が地元の方と一緒に鎌を使って稲を刈り取り、束ね、稲束を稲架に干しました。参加者の中には自分の背丈くらいある大きくて長い稲束を一生懸命運ぶ子供の姿もありました！

十月二十日には、佐護小中学校による稲刈り、稲架干し体験を実施しました。中学生は下級生にやさしく作業のやり方を教えていました。子供達は田んぼの学校を通して「お米を作る」楽しさと大変さを学んでくれたのではないかと思います。今年のお米は豊作。今回の田んぼの学校に関わったすべての人が対馬の恵みに感謝し、今年の稲のようにすくすく育ってくれたらと願っています。

「とらばさみ回収キャンペーン」  
全島に拡大します!

八月から九月まで、『とらばさみを買わない・持たない・使わない』ことを推進するため、環境省・長崎県・対馬市では「どぶつたちの命を守ろう!とらばさみ回収キャンペーン」を実施しました。対馬市上県町の十四地区で試験的に実施し、とらばさみ十八個を回収。また、とらばさみ販売店に販売の自粛を依頼し、対馬での販売店はゼロとなりました。ご協力ありがとうございました。

これらの成果を受け、キャンペーンを二〇〇九年三月末まで延長し、回収の対象も対馬全域に拡大します。回収にご協力いただけただけの方には、とらばさみ一個につき五百円の協力を金をお支払い致します。この機会に是非回収にご協力ください。壊れていたり、使用されていないとらばさみも対象です。

冬は、動物による鶏被害が多発する時期です。鶏が動物に襲われた場合、また被害が続いてお困りの場合は当センターにご連絡ください。



【問い合わせ先】  
八四―五五七七(担当:前田)

-[佐護区区长]-

## 対馬の守人 平山美登さん



A.レンジャー  
前田がゆく  
オ3回

「美しい草原を取り戻したい、野焼きを試みたい、ブリを豊漁にしたい\*、希少な植物やヤマネコを守りたい。それぞれの動機は何でもいい。とにかく、みんな一緒に楽しみながら草原再生に取り組み、結果として千俵嶺山の美しい草原を次の世代に残せよう。」

千俵嶺山は、対馬では珍しい全山草原性の山。しかし、農業の機械化や農業離れによって農耕用の牛や馬を飼う必要が無くなり、約40年前に野焼きや草刈りが行われなくなってしまった。人の働きかけが無くなると、草原の森林化は早く、1947年に約100haあった草原は、今では山頂部に約7haを残すのみ。

そういう変化を見逃ごせるはずがない。佐護区長の平山美登さんは、そういう思いを持つ区民を束ねて「千俵嶺山草原再生プロジェクト」を立ち上げた。その温厚な人柄で、区民の人望は厚く、野焼きや雑木伐採作業には多くの区民が駆けつける。

作業中、汗をかきながら「俺たちはスゲーことしよるとやな」と一言。佐護区は、千俵嶺山以外にも、あじさいロードや野鳥、ヤマネコなど数多くの資源に恵まれているが、「他の地域や島では、こんな活動はできない」と平山区長は活動できることの喜びを実感している。



(佐護友谷在住、53歳)

### 用語補足

\*ブリの豊漁と野焼きの関係・・・昔から「黒山にはブリがたがる」という野焼き後の千俵嶺山は豊漁の象徴であった。

# センター News



## イベント報告&情報

-イベント-  
どんぐりハイキング!



拾ったどんぐりの名前を調べたよ!

-総合学習-  
比田勝小学校



玄関前で記念撮影  
センターの玄関でハイチーズ♪

『まんじにあつた  
ツシマヤマネコ物語』  
つしま図書館で読み聞かせします!

1月17日(土) 14:00~  
会場: 対馬市交流センター4F  
参加費: 無料

『つしま図書館定例お話し会』

☆絵本の読み聞かせ、☆紙芝居  
☆エプロンシアター、☆マジックショー  
毎回楽しく、大好評の内容が  
盛りだくさんです!  
今回はこの中に『ツシマヤマ  
ネコ物語』も参加します!  
皆さん、是非来てください♪

### 2008年9~11月までのセンター利用学校

☆加志々中学校 ☆仁田小学校 ☆比田勝小学校  
☆佐護小中学校 ☆豊玉小学校(PTA) ☆内院小学校(PTA)

## 舟志の森 - やまねこ音楽祭開催♪

11月15日(土)に上対馬町舟志の旧舟志小学校で「舟志の森やまねこ音楽祭」が開催されました。この音楽祭は、ツシマヤマネコをはじめとする対馬の生きものたちとの共生可能な森づくりに取り組む舟志区を応援するために開催されました。

舟志区の太鼓チーム「対馬愛鼓連」の勇壮な和太鼓で幕を開け、佐世保のジャズ愛好家による「佐世保猫かぶりジャズアンサンブル」や佐世保で活躍する「脇本志津子」さんによるジャズの演奏、「対馬市民吹奏楽団」の吹奏楽や対馬出身メンバー率いる「Hi-CLASS」のロックなど多彩な内容を180名の観客が楽しみました。



舟志区『対馬愛鼓連』



対馬出身者バンド『Hi-CLASS』

## ヤマネコへの手紙表彰者対馬に来る♪

11月1日(土)、東京の井の頭自然文化園が募集した『ヤマネコへの手紙』で対馬市長賞を受賞した関東の小学生3名が対馬野生生物保護センターを訪問してくれました。ヤマネコの生息地ならではの体験として、ヤマネコの痕跡ハイクと糞分析を実施しました。最初は、糞のにおいを嫌がっていた3人も最後はヤマネコが何を食べているのか夢中になって調べていました。ぜひ、また来て下さいね♪



着ぐるみ・つばきと一緒に記念撮影!

### 編集後記

42号が今年最後のとらやまの森となりました。2008年はとらやまの森をリニューアルした記念すべき年でした!みなさまに少しは愛される季刊誌にできたでしょうか?2009年もヤマネコともども、頑張っていく所存です。どうぞ、よろしくお願ひします。



ツワブキ

今日の一  
ツワブキ  
これからの時期、  
対馬の花を咲かせる  
黄色の花を咲かせる  
のが初冬の季節にも  
なっているツワブキ  
です。若い葉柄はフ  
キと同じように「\*  
キヤラブキ」にし  
て  
食べます。  
\*皮をはいだフキを  
生醬油で甘辛く濃  
煮詰めたつくだ煮で  
煮て

とらやまの森  
No.42  
2008  
秋号



★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。\*尚、12/29~1/3は休館です。

# とらやまの森

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>

## STOP ROADKILLS

ヤマネコ飛び出し注意！ 交通事故ハザードマップ（交通事故危険区域図）



### ～ドライバーズマニュアル・ハザードマップ配布のお知らせ～

祝！ヤマネコ交通事故  
 ゼロ記録三六五日突破！

二〇〇九年二月一日は、ツシマヤマネコ保護に関わる全ての人にとつての記念日となりました。無事故記録が一周年を迎えたのです。

記録を取り始めた一九九二年以降、ヤマネコの交通事故発生は四八件。センターではヤマネコの最も深刻な減少要因である交通事故対策の一環として、運転時の具体的な注意点を示した「ドライバーズマニュアル」を配布しています。マニュアルには、交通事故発生危険性が高い場所を具体的に示した「交通事故ハザードマップ」が記載されています。また、優良ドライバーと判定されると、なんと「ヤマネコスーパーエコドライバー」として、認定証と認定ステッカーがもらえます！（詳細はセンターまで！）

これを契機に、一人でも多くの人がヤマネコの交通事故に関心を持ち、このまま無事故が続くことを願っています。昨年六月に対馬やまねこ空港到着ロビーと佐須奈の鈴木石油さんに設置した交通事故ゼロ記録看板にも、是非注目して下さい。



認定ステッカー

# やまねこ News



ヤマネコ亜成獣の保護収容続々！



1件目 十二月六日保護、翌日死亡

上対馬町富浦地区の倉庫で衰弱したヤマネコが保護されました。センターで治療した結果、一時は回復の兆しが見えましたが、翌日に死亡が確認されました。死亡したヤマネコは、去年春生まれの雄で、衰弱死と診断されました。まだ若い個体だったので、回復して野生で立派に生きてほしいのですが、とても残念です。



保護直後のヤマネコの様子

2件目 一月一六日ミイラ化死体収容



発見されたヤマネコのミイラ

上県町佐護の林道にて骨と皮だけのミイラ化したヤマネコの死体が発見されました。このようにミイラ化されたものが発見されるケースは珍しいです。このヤマネコは昨春に生まれ、昨秋〜今冬に死亡したと思われる。亡くなったことは、とても残念ですが、ヤマネコとして生きていくことに誇りをもって生きていくといいですね。

3件目 一月二七日、保護ヤマネコ、野生に帰る

上県町佐護の民家倉庫でヤマネコが保護されました。少し痩せていましたが、幸い健康状態に問題はなく、センターで約二週間療養した後、保護された近くの山へ帰ることになりました。このヤマネコは昨春生まれの雄で、親離れしたばかりです。これから自分で餌を捕り、立派に成長し、野生のヤマネコとして堂々とたくましく生きてほしいと思います。



野生復帰・放獣の瞬間

## 職員日誌④ 『ツシマヤマネコ×うた』

あいらぶツッシー



「異国の見える この町に 数もわずかな ネコがいる  
その名はツッシー ツシマヤマネコ これまで以上に  
これから先も 仲良く暮らして いけたらいいよね  
あいらぶツッシー 元気でいてね♪」

センターに勤務し始めの頃、ヤマネコ教室でお世話になった小学校の先生から教えてもらった唄です。曲名は『あいらぶツッシー』、ツシマヤマネコ保護イメージソング♪

なんとこの曲、教えてもらったその日から私の頭を洗脳してしまいました。しまいには、出勤中の車の中でもロズさんでまいます♪日本中にどのくらいの野生動物の唄があるのでしょうか？(どうやら、何個かはあるようです。ライバルですな！)

3月は出会いと別れの季節です。その節目に唄ってみるのはいかがでしょうか？ じんわり心にしみる泣ける唄です♪

教育普及：上山  
(出身地：鹿児島市)

2年間  
ありがとうございました。



今年の3月で退職  
致します。

2006年度の学生実習を経て、職員となる。主に、環境教育を担当！子供たちからは「つめ」の愛称で呼ばれている！(27歳)

### 第2回 ヤマネコ・クイズ!

●ツシマヤマネコが一度に産む赤ちゃんの数は何頭ですか？

# 対馬の環 News



稲も人も生物も田んぼで  
すくすく育ちます!



稲刈り作業後の集合写真(佐護)



大きな稲束を抱える参加者(田ノ浜)

◆田ノ浜地区・佐護地区  
田んぼの学校収穫祭♪

今春から上県町田ノ浜地区と佐護小中学校で実施している田んぼの学校で稲の収穫体験が開催されました。十月十九日、田ノ浜地区の田んぼの学校では、お米の色が違う五種類の稲穂が見事に実り、約六十人の参加者が地元の方と一緒に鎌を使って稲を刈り取り、束ね、稲束を稲架に干しました。参加者の中には自分の背丈くらいある大きくて長い稲束を一生懸命運ぶ子供の姿もありました！

十月二十日には、佐護小中学校による稲刈り、稲架干し体験を実施しました。中学生は下級生にやさしく作業のやり方を教えていました。子供達は田んぼの学校を通して「お米を作る」楽しさと大変さを学んでくれたのではないかと思います。今年のお米は豊作。今回の田んぼの学校に関わったすべての人が対馬の恵みに感謝し、今年の稲のようにすくすく育ってくれたらと願っています。

「とらばさみ回収キャンペーン」  
全島に拡大します!

八月から九月まで、『とらばさみを買わない・持たない・使わない』ことを推進するため、環境省・長崎県・対馬市では「どぶつたちの命を守ろう!とらばさみ回収キャンペーン」を実施しました。対馬市上県町の十四地区で試験的に実施し、とらばさみ十八個を回収。また、とらばさみ販売店に販売の自粛を依頼し、対馬での販売店はゼロとなりました。ご協力ありがとうございました。

これらの成果を受け、キャンペーンを二〇〇九年三月末まで延長し、回収の対象も対馬全域に拡大します。回収にご協力いただけると方には、とらばさみ一個につき五百円の協力を金をお支払い致します。この機会には是非回収にご協力ください。壊れたり、使用されていないとらばさみも対象です。

冬は、動物による鶏被害が多発する時期です。鶏が動物に襲われた場合、また被害が続いてお困りの場合は当センターにご連絡ください。



回収した「とらばさみ」

【問い合わせ先】  
八四―五五七七(担当:前田)

-[佐護区区长]-

## 対馬の守人 平山美登さん



A.レンジャー  
前田がゆく

オ3回

「美しい草原を取り戻したい、野焼きを試みたい、ブリを豊漁にしたい\*、希少な植物やヤマネコを守りたい。それぞれの動機は何でもいい。とにかく、みんな一緒に楽しみながら草原再生に取り組み、結果として千俵嶺山の美しい草原を次の世代に残せよう。」

千俵嶺山は、対馬では珍しい全山草原性の山。しかし、農業の機械化や農業離れによって農耕用の牛や馬を飼う必要が無くなり、約40年前に野焼きや草刈りが行われなくなってしまった。人の働きかけが無くなると、草原の森林化は早く、1947年に約100haあった草原は、今では山頂部に約7haを残すのみ。

そういう変化を見逃ごせるはずがない。佐護区長の平山美登さんは、そういう思いを持つ区民を束ねて「千俵嶺山草原再生プロジェクト」を立ち上げた。その温厚な人柄で、区民の人望は厚く、野焼きや雑木伐採作業には多くの区民が駆けつける。

作業中、汗をかきながら「俺たちはスゲーことしよるとやな」と一言。佐護区は、千俵嶺山以外にも、あじさいロードや野鳥、ヤマネコなど数多くの資源に恵まれているが、「他の地域や島では、こんな活動はできない」と平山区長は活動できることの喜びを実感している。



(佐護友谷在住、53歳)

### 用語補足

\*ブリの豊漁と野焼きの関係・・・昔から「黒山にはブリがたがる」という野焼き後の千俵嶺山は豊漁の象徴であった。

# センター News

## イベント報告 & 島守情報

-1月イベント-  
「ツシマヤマネコ物語」

### 母親をなくした仔ヤマネコ「キャロ」の物語



センター x  図書館

1月17日(日)、つしま図書館のお話し会でツシマヤマネコ物語「母親を亡くしたキャロ」のお話しをさせていただきました。

-総合学習「対馬学」(加志々中学校)-  
『ツシマヤマネコデーの設定』

1月20日(火)、加志々中学校3年生14人がツシマヤマネコ保護の取り組みの一環として、自分たちで考えた『ツシマヤマネコデー』の設定を対馬市長へ提案しました。

-2月イベント-  
「木のしおりと木のはがきづくり!」



センター x Kiiro

2月14日(土)、家具製作所Kiiroの阿比留夫妻を講師に招き、対馬ヒノキを使って、木のしおりと木のはがきを製作しました。



加志々中学校

## 佐須奈の動物病院に★新獣医師着任



はじめまして。この度、佐須奈の動物病院に勤務することになりました。姓は越田(こした)、名は雄史(ゆうし)と言います。

まだまだ未熟な獣医ですが少しでも皆さんが可愛がっているワンちゃん、ネコちゃんのお世話を出来ればと思っています。話をするだけならノーマネー。気軽にお立ち寄りください。よろしくお願いたします。(動物病院:0920-84-2681)

## ジュースを飲んでヤマネコを守ろう!

2008年7月にツシマヤマネコ寄付条例が施行され、全国からツシマヤマネコを守るための募金活動が始まりました。この募金のために、サントリーフーズ株式会社と対馬市が協力し、1月28、29日に寄付金付きの自動販売機を、市役所と5か所の地域活性化センターに設置しました。自動販売機の売り上げの一部が、ツシマヤマネコを守る活動に使われます。市役所にお立ち寄りの際は、この自動販売機でジュースを買ってヤマネコ保護に一役かってみませんか?



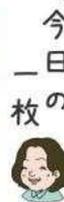
### 編集後記

2008年度も残りわずかとなりました。皆さま、風邪などひいていませんか? やまねこセンターは皆さまのお陰で今年も無事一年を終えることができそうです。感謝です。  
(うえやま。)



上島の個体は白花

「ナンガンズミレ」は、大陸系の植物で日本では、対馬だけに咲く切れ葉が特徴的なスミレです。対馬には、スミレの種類が一六種(垂種・品種を除く)あるのですが、これからの季節に咲き始め「春を感じさせてくれる花」でもあります。



### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。

とらやまの森  
NO  
43  
2008  
冬号



★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

# とらやまの森

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>

## センター職員の異動

2009 春号  
NO.44



後は宜しくね♪

佐々木

### 水崎 進介 レンジャー（自然保護官）



前任地は釧路で、知床世界遺産に関わる仕事をしていました。釧路も対馬も非常に特徴的な自然が残っている地域ですので、対馬への異動は非常に幸せです。ヤマネコについては、単に絶滅しそうだから守るというのではなく、ヤマネコも対馬の一員だから守るという考え方で地域の方々と一緒に保護を進めていければと思っています。

### 杉山 遥 事務補佐員

対馬のことは何も知らずにきたのですが、美しい自然環境とツシマヤマネコなどの珍しい野生動植物がいるこの対馬は、私にとって新鮮なことばかりで毎日が発見の連続です。これからはもっと対馬について学んでいくとともに、対馬の自然の素晴らしさをより身近に感じていただけるお手伝いのできたらいいなと思っています。

がんばってね



上山



ファイトだ!

前田

### 原口 墨華

#### アクティブ・レンジャー（自然保護官補佐）

ヤマネコセンターの職員として仲間入りしました！まだまだわからない事ばかりですが、もっと対馬のこと、そしてツシマヤマネコのことを知りたいと思っています。これから、ヤマネコの交通事故対策などを行なっていく予定ですので、見かけたら気軽に声をかけてください。

# やまねこ News



保護された直後の様子

前回のとらやまの森No.四十三号で上県町佐護の民家倉庫で保護されたヤマネコの野生復帰をお伝えしました。その後、どこに移動するのか見守っていましたが、三月、そして、四月にもセンター付近で目撃され、元気で頑張っている様子です。

野生復帰させたのが二月十二日でしたので、もう二ヶ月以上経過していると見ると、きちんと獲物を捕獲できているのでしよう。今度いつ出会えるか解りませんが、立派なヤマネコに成長して欲しいですね。

野生に帰した  
ヤマネコのその後!?

## ツシマヤマネコの学名表記が変わりました!

ツシマヤマネコの学名はこれまで*Prionailurus bengalensis euptilura*を使ってきましたが、これからは*Prionailurus bengalensis euptilurus*と表記します。

＜なぜ表記が変わったの?＞

ツシマヤマネコの学名は以前*Felis bengalensis euptilura*を使っていましたが、近年の研究の結果、属名は*Felis*でなく、*Prionailurus*を用いるようになっていきます。その際に、属名の変更に伴って亜種名も*euptilura*から*euptilurus*と変更させる必要があったのです。

＜ラテン語のルール＞

学名の語源であるラテン語の文法では、名詞を「男性」「女性」「中性」に分けるルールがあります。また、修飾語は修飾する名詞の「性」に応じて語尾を変化させなければなりません。ツシマヤマネコの学名の場合、*Prionailurus*は「男性」名詞ですので、修飾語である亜種名は*euptilurus*と表示します。

男性名詞→-us, -is 女性名詞→-a, -is 中性名詞→-um, -em



*Prionailurus bengalensis euptilurus*

## 職員日誌⑤ 『春は楽しいな〜♪』

「春はあけぼの…」と清少納言が伝えられているとおり、対馬の春も日の出前からいいですね。と言いますのも、対馬では野鳥の一大イベント“春の渡り”が始まるからです。特に4月下旬から5月にかけてはツマジコなどのホオヅク類や、全国のバーダーに大人気のヤマショウビンも現れます。また、他の地域では見られないような珍鳥に出会えるチャンスでもあります。これは、今日もまた眠れない日々が続きますね〜♪



シマジコ



キビタキ



ヤマショウビン

飼育員：川口

(出身地：対馬市)



動物の写真を撮るのが趣味です。ヤマネコの飼育をはじめたのは9年！ヤマネコのことなら何でも聞い〜

### 第2回ヤマネコ・クイズ!の回答

● ツシマヤマネコが一度に産む赤ちゃんの数は何頭ですか? (A. 1~3頭)



# 対馬の環 News



## 「舟志の森」での ネズミ調査結果☆

昨年五月から開始した舟志の森モニタリング調査では、ヤマネコに優しい森づくりを進めている舟志の森を調査地として、人工林を間伐することによりヤマネコの餌動物であるネズミ類の生息状況がどのように変化するかを調べています。二〇〇八年五月から二〇〇九年三月まで二ヶ月に一度、間伐前の人工林でネズミ類の生息状況を調査しました。その結果、ヒメネズミが最も多く五十三回、次いでアカネズミが十八回、ヒミズが十回捕獲されました。また、最も捕獲回数が多かったのは二〇〇九年三月で、全体の約半数はこの時期に捕獲されました。ヒメネズミとアカネズミは秋〜春にかけて繁殖しているようです。

二〇〇九年三月の調査終了後には人工林の間伐が実施され、これからの一年間は間伐後のネズミ類の生息状況を調査していきます。人工林の間伐はネズミ類の生息状況にどのような影響を与えるのでしょうか…？



## 対馬の自然を守ろう♪

田んぼはお米を生産する場だけでなく、田んぼを利用するカエルやネズミなど多くの生きものを育んでいます。そのため、その生きものを餌とするヤマネコにとっても重要な場所となっています。

そこで、ヤマネコの重要な生息地である上県町佐護では、対馬の環境を維持・改善していくために、環境に配慮したお米作りをしよう、農家や対馬市、農業改良普及センターなどの協力を得ながら、試験田を設置することになりました。

今年には四枚の田んぼで無農薬または減農薬に取組み、生きものにはどの程度の効果があるのか？作業の手間はどのくらいかかるのか？などを検証していきます。

早速一枚目の田んぼの田植えを手伝いに行きました。機械では植えられない田んぼの四隅の手植えをしましたが、田んぼに興味と愛着がとて湧きました。いい結果がでることを楽しみに、協力していただける方々と頑張ってきたと思います。



Ag・レンジャー  
山本がゆく

## オ4回 対馬の守人

家具製作所

**Kiiro**

阿比留恭二さん・優子さんご夫妻

「Kiiro」の意味は「黄色と木色」。対馬で生まれ育った阿比留恭二さんが、福岡での修行を終え2008年に対馬で開業した家具製作所です。主に恭二さんが家具、優子さんは小物を担当しています。

家具づくりの材料には主に対馬ひのきの間伐材を使用。対馬の面積の約15%を占める人工林は、間伐などの手入れをしなければ木材の質が落ち、生き物のすみにくい真っ暗な森になってしまいます。昨年度は、対馬ひのきの肌触りの温かさや表情豊かな木目を生かした作品が評価され、「間伐・間伐材利用コンクール」の「暮らしに役立つ間伐材利用部門」で林野庁長官賞を受賞しました。

Kiiroは家具の製作を通して対馬の森林を守っています。



### センター用語

● Ag (アクティング)・レンジャー・・・自然保護専門員。主にヤマネコの検査や治療を行う獣医師。

# センター News

## イベント報告&情報

### 春の植物観察会 in 千俵蒔山

4月5日(日)、千俵蒔山を上りながらきれいな花々を対馬の自然と生き物の会会長の國分英俊氏の解説のもと観察しました。

当日は天候にも恵まれ、とても楽しい観察会になりました。



## 2009年度 上半期イベント予定



### ①5月17日(日)『どんな鳥がいるだろう?』

時間：9:30～12:00 場所：上県町佐護バードウォッチング公園  
公園の周りを歩きながら鳥を探して観察してみよう！（初級編）

### ②6月14日(日)『あじさい祭り de クイズラリー』

時間：10:00～15:00(随時) 場所：上県町佐護湊シーランド  
ヤマネコについてのクイズに答えて賞品をゲットしよう！

### ③7月12日(日)『草木染め』

時間：13:00～15:00 場所：厳原町対馬市交流センター3階調理室  
身近にある草や木でオリジナルの染物を作ってみよう！

### ④8月9日(日)『ヤマネコ博士学校』

時間：13:00～15:00 場所：対馬野生生物保護センター  
ヤマネコの調査方法を体験し、君もヤマネコ博士だ！

### ⑤9月20日(日)『ネズミの骨ってどんなだろ?』

時間：13:00～15:00 場所：対馬野生生物保護センター  
ヤマネコの餌になっているネズミ。その骨格標本を作ってみたくないかい？



みんなの参加を楽しみに待ってるよ～

※①③④⑤のイベントの参加には予約が必要です。  
申込み・お問合せは担当：大谷(おおや)まで。

### 編集後記

山の緑が美しく、過ごしやすい季節になってきました。新年度がはじまって1ヶ月がたち、新しい生活にも慣れてきたことでしょう♪2009年度もヤマネコセンターを宜しくお願いします。



今日の一枚  
『ヒトツバタゴ』  
五月になると上対馬を中心に、集落一帯を白い花で彩るヒトツバタゴは、対馬の名花でもあります。  
別名「なんじやもじや」と呼ばれ親しまれています。  
今年は、昨年比去年の開花が早かったみたいです。



# とらやまの森

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>

2009 夏号  
NO.45

移動軌跡 (6/11~21)



保護から一年四ヶ月、再び野生へ！

二〇〇八年二月一日深夜、上対馬町一重の県道で交通事故に遭い瀕死状態のヤマネコが保護されました。第一発見者は、当時南陽小学校六年生だった米田貴絵さん。小学校の授業で教わったヤマネコの特徴をすっかり憶えていた米田さんは、路上でうずくまっている動物を見つけたとき、すぐにヤマネコだと分かったそうです。その後、現場を通りかかった立花孝行さんによってヤマネコは搬送されました。センターで治療を受けたヤマネコは順調に回復し、野ネズミやウズラ、カエル、ヘビ、昆虫などの生きた動物を狩る訓練を続け、事故から一年四ヶ月後の二〇〇九年六月十一日、ついに野生に帰る日を迎えました。狩りの訓練をしたとはいえ、一度飼育下で暮らした野生動物が再び野生で生きていくのはとても大変なことです。そこでこのヤマネコに発信機を装着し、野生復帰後の動向をモニタリングすることにしました。

一重の山中で放獣されたヤマネコは、久しぶりの野外環境に少し戸惑っていた様子でしたが、しばらくすると一重から芦見、琴、茂木へと移動していきました。尾根を越え、沢を渡り、時には道路を横断して、一週間で移動した距離は約六km。自分のなわばりを持つ場所を探す放浪の旅は、まだまだ続きそうです。センターでは今後もこのヤマネコを見守っていく予定です。



## 仔ヤマネコ誕生☆

福岡市動物園のツシマヤマネコの出産情報をお伝えします。今年は一ペアで三頭の仔ヤマネコが誕生しました。

まず五月十二日の午後三時頃、一頭生まれました。父親は以前上県町の佐護で何度もニワトリ小屋に侵入し、悪さをしていたお騒がせヤマネコのトモオくん、二〇〇七年にも繁殖に成功している雄です。母親も対馬で保護されたヤマネコで、今回初産となったココロちゃんです。長い間出産を待ちわびていただけにうれしいニュースとなりました。今回は一頭のみのお産でしたが、順調に育っているということですので、そろそろかわいい姿をみせてくれるでしょう。

もう一ペアの父親はまたまたトモオくん、母親は福岡市動物園生まれのNo.十三。六月十七日の午後一時頃に二頭を出産したということで、今後の成長が期待されます。



三頭のパパになったトモオ

## ツシマヤマネコの死体収容続く



五月・六月と立て続けに三頭のツシマヤマネコの死体が収容されました。いずれも死後時間が経過しほぼ骨と毛だけの状態で、残念ながら死因はわかりません。六月七日に収容された死体については、五月十日にセンター職員が目撃しているこの時期は一ヶ月弱も経てば骨と毛だけの状態となってしまうようです。

ヤマネコの死体収容は悲しいことですが野生で生きていく以上、避けられないものでもあります。比較的新しい状態で死体が収容されれば、専門家の協力を得て解剖などを行い死因の解明もできますし、ヤマネコが減少している原因を死因から推測し、対策をとることが出来ます。また、骨だけであつても歯から年齢を推測することが出来ます。

一頭一頭のヤマネコの死を無駄にしないために、皆さんもヤマネコの死体を見つけた際には是非、対馬野生生物保護センターまでご連絡ください。



発見された死体

## 職員日誌⑥ 『飼育ヤマネコ』



現在センターでは「福馬」を公開していますが、その他に17頭のヤマネコを飼育しています。同じヤマネコでも性格や顔などが違い、それぞれに個性があります。運動神経がよく一日中活動するヤマネコや、巣箱の上や寝室で寝て過ごすヤマネコなど...

今回は12頭の中から好奇心旺盛で比較的人間にも慣れているイケメンヤマネコ(2頭)と、神経質でわがままな一面もある美人ヤマネコを紹介します。



Mk-30(オス)



No.4I(オス)



No.24(メス)

飼育員：神宮  
(出身地：対馬市)



主にヤマネコの部屋の掃除、餌やりを中心に行っていますよ。ぜひ、福馬クンに会いに来て下さい☆

### 第3回 ヤマネコ・クイズ!

現在、センターで飼育しているヤマネコは何頭でしょうか?



## 田んぼの学校開校♪

今年も佐護小学校で「田んぼ楽校」が、田ノ浜で「対馬ヤマネコ田んぼの学校」が開校しました。佐護小学校では、種まき、泥んこ学習、田植え体験、田んぼの周りの生き物調査が行われ、生徒たちは田んぼの中でどろんこになりながら体いっぱい泥の感触や匂い、温度を楽しんだり、実際に田植えを行って米作りの楽しさや大変さを味わっていました。また田ノ浜地区では大人も子供もあわせて約六十名の方が参加し、田植え体験、田んぼの周りの生き物調査を行いました。生き物調査では、メダカやドジョウ、ウナギ、カメなどを捕まえたり牧草地でネズミの巣を発見するなど、田んぼが色んな生き物を育んでいる場所だと実感することができました。

普段田んぼに目を向けることの少ない人たちが田んぼと触れあうことで、自然の大切さについて考え、いつも食べるお米が数倍おいしくなるような機会になればいいなあと思いましたが、どちらも今から収穫の時期が楽しみですね☆



一列に並び手植えする参加者

## 試験田で新発見!?

今年からはじまった佐護での環境に配慮した優しいお米づくりも、すべての田んぼで田植えが終わりまりました。除草剤を使わないで田植えをしたところは、草がぼうぼうになってしまい、草むしりが本当に大変でした。改めて雑草の力を見せつけられました！田植えが終わった田んぼでは、農と自然の研究所の代表者である宇根豊氏に来ていただき、生き物調査を行いました。試験田に参加してくれている農家の方や、興味のある方、関係者など、約二十名での調査になりました。

調査してみても一番驚いたことは、田んぼによって生き物が全然違っていたことです。オタマジャクシがすごくいっぱいいる田んぼ（稲一株に約四十四匹）や、ヤゴが多い田んぼ。深い田んぼや浅い田んぼなど田んぼといっても色々な田んぼがあるんだと実感した一日でした。皆さんも近くの田んぼの中を覗いてみてください。そこにはきっと新しい世界があるはずです♪



生き物調査



Ag-レンジャー  
山本かゆく

5回

## 対馬の守人

そこぞから  
「NPO法人対馬の底力」

対馬は海のきれいな島です。その海岸に発泡スチロールやポリタンク、ペットボトルなど沢山のゴミが漂着しているのは、皆さんご存じですか？

「NPO法人対馬の底力」は、対馬の美しい海を取り戻すため「自分達の島は自分達の手で」を合言葉に、こうしたゴミを回収する活動を行っています。清掃にはメンバー以外のボランティアも参加し、これまでにトン袋600個分(!)の漂着ゴミを回収しました。「ゴミ拾い」というと大変そうですが、大勢で行えば楽しく、きれいになるととても気持ちの良いものです。今後の活動予定については、下記をご参照下さい。

対馬の底力HP <http://www4.ocn.ne.jp/~sokojk/index.html>

ブログ <http://tsushimanosokodikara.blog25.fc2.com/>

お問い合わせ 0920-52-2278 (長瀬)



### センター用語

試験田・・・農薬の影響を調べるために、減農薬や無農薬でどれだけ米が作れるかを実験する田んぼのこと。

# センター News

## イベント報告&情報

### ーイベント報告ー

#### 5/17(日)どんな鳥がいるだろう？

朝からどんより空で雨が降るか心配でしたが、祈りが通じたのか昼には青空がひろがっていました♪佐護のバードウォッチング公園のまわりを歩くとサギ類やシギ類などいろんな鳥たちが田んぼに集まっていました♪



つばきちゃんと記念撮影

#### 6/14(日)あじさい祭りdeクイズラリー

“あじさい祭り”の会場であるシーランド内で、クイズラリーを行いました☆途中でヤマネコのつばきちゃんも応援にかけつけてくれ、にぎやかな1日になりました!



クイズの答えは・・・なにかな？



### ー学校の利用ー

峰小学校と小細小学校が、親子レクリエーションや学級PTAの時間にセンターにきてくれました!福馬をみたりヤマネコビンゴをしたことで、少しでもヤマネコのことを知ってもらえたならいいな♪と思います。



## 8月・9月のイベント予定

### 『ヤマネコ博士学校』

日時:8月9日(日)

時間:13:00~15:00

場所:対馬野生生物保護センター

ヤマネコの調査方法を体験し、ヤマネコ博士になろう!  
博士になると特製ヤマネコ博士バッジがもらえるよ!

### 『ネズミの骨ってどんなだろ?』

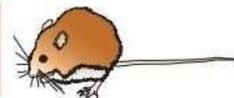
日時:9月20日(日)

時間:13:00~15:00

場所:対馬野生生物保護センター

ヤマネコの餌になっているネズミ。  
その骨を見てみたいかないかい??

イベントの参加には事前の予約が必要です。  
申し込み・お問合せは担当:大谷(おおや)・杉山まで”



### 編集後記

だんだん夏の気配が増してきましたが、いかにお過ごしですか?夏は楽しいイベントが多い反面、体を壊しやすい季節でもあります。ヤマネコセンターも、健康第一でこの夏を乗り切っていく予定です!  
皆様も夏風邪には十分お気をつけください☆



『今日一枚』  
この花はキク科の植物で、将来絶滅する危険性が高いと言われている種です。花の大きさは五センチくらいで一般のヒゴタイの色は「ルリ色」ですが、対馬では、淡い優しい色をしており形は球形で美しい花です。花の咲く時期は七月から八月くらいです。  
もし、見かけられてもそのままそっと見守ってあげましょう。

とらやまの森

No 45

2009

夏号



★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。

# とらやまの森

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>

2009 秋号  
NO. 46

ありがとう！

つつじ



## ◆「つつじ」のプロフィール◆

性別：メス 年齢：推定9歳以上 体重：約3.8kg 全長：77cm  
2002年9月に調査のため捕獲→FIVに感染していたためセンターで飼育  
2007年3月に一般公開開始⇒2008年6月に一般公開引退⇒2009年7月16日に死亡

二〇〇七年三月から二〇〇八年六月まで対馬野生生物保護センターで一般公開されていたツシマヤマネコ(愛称「つつじ」)が二〇〇九年七月十六日朝、死亡しました。

「つつじ」は、二〇〇二年に琉球大学が調査のために捕獲した個体で、検査の結果、FIV(ネコ免疫不全ウイルス)の感染が確認されたため、センターに収容し飼育していました。二〇〇六年三月から初代公開ヤマネコ「つしまる」のあとを引き継ぎ一般公開していましたが、二〇〇七年六月、老齢のため非公開の飼育棟に移動しました。

飼育員が「つつじ」が死んでいるのを発見したときには、既に死後硬直していたため、十五日夜から十六日早朝の間に死亡したと推測されます。十五日の夕方までは餌もよく食べ、特に異常は認められていませんでした。

死因については東京大学に診断を依頼しています。それと共にFIVの影響についても確認する予定です。

「つつじ」はメスにしては体格も大きく、一般公開中は物おじしないおっとりした性格と優しい表情で来館者に親しまれていました。

色々なことを私たちに教えてくれた「つつじ」ありがとう、そして、お疲れ様！！

センターでは、七月十六日より記帳台を設け、来館者の皆さまから「つつじ」へのメッセージを募集しています。



## 来館者十五万人突破！

八月四日にセンターの総来館者数が十五万人に達しました！一九九七年八月一日にセンターが一般公開してから約十二年での達成です。

十五万人目の来館者は、大阪府在住の佐野英晃くん（六才）です。佐野くんは島外の親戚と一緒に対馬の親戚のところ遊びに来ており、対馬に来たのは三回目、センターに来たのは二回目ということでした。

感想を聞いたところ、「センターに来るのは初めてで（前回のことは小さくて覚えていない）ヤマネコがかわいかった。（十五万人目になって）嬉しかった。」とのことでした。

センターから、佐野くんに来館者十五万人目の証明書と、記念品を贈呈しました。

これからもセンターでは、展示の工夫や楽しいイベントの開催に加え、今年度予定している展示改修（ご期待ください！）等により、何度来ても新たな発見があり満足していただけのようなセンターにして行きたいと思います。



15万人目の来館者。佐野秀晃くん

## ツシマヤマネコの死体収容続く



七月三日、棹崎公園のキャンプ場トイレ内で生後二〜三ヶ月の仔ヤマネコの死体が発見されました。外傷はありませんでしたが、首の骨が折れており、これが死因と考えられます。トイレ内で発見されるなど不審な点が多いため、何かご存じの方はセンターまでお知らせ下さい。

七月十日夜、一重で六月十二日に野生復帰したヤマネコが衰弱し、舟志で保護収容されました。治療したものの、残念ながら七月十二日に亡くなりました。二〇〇八年二月一日に交通事故で救護されて以来野生復帰に向け訓練してきましたが、このような結果となり、職員一同非常に心を痛めています。

八月二十二日には、棹崎でヤマネコの白骨死体が発見されました。一緒に回収されたマイクロチップから、二〇〇四年にセンターに侵入し保護された老齢のオス、通称「タロウ」であることが分かりました。骨の状態からかなり高齢であったと考えられ死因は老衰と推測しています。



死体で発見された仔ヤマネコ

## 職員日誌⑦ 『日食見ましたか?』



今年の夏（7月22日）は日本で46年ぶりに皆既日食が見られる年でしたが、みなさんは日食見ましたか？対馬では皆既日食は無理でしたが、最大89%まで欠ける部分日食をみることができました！当日は天候にも恵まれ、少しずつ欠けていく太陽を観察することができました。日食が進むにつれて、外の気温が徐々に下がるのを感じ、周りが薄暗くなっていきました。こんなにも神秘的な時間を対馬で過ごせてとても感動です（>\_<）



### 教育・普及：大谷

（出身地：栃木県）

見かけたら声をかけてくださいわよ



対馬は楽しいですよ

対馬に来てから2年半が経ちました。環境教育、自然ふれあいイベント、田んぼの学校などを担当！「みるく」の愛称で呼ばれています。

### 第3回ヤマネコ・クイズ!の回答

現在、センターで飼育しているヤマネコは何頭でしょうか？（答え：10頭）

# 対馬の環 News



## ツシマヤマネコの

### 交通事故にご注意を！

今年も仔ヤマネコの独り立ちの季節がやってきました！

毎年九月〜十二月は親離れした仔ヤマネコが自分のすみかを求めてあちこち動き回ります。そのためこの時期はヤマネコが道路上に現れる機会が増加し、事故に遭う危険性が高まります。このようにヤマネコの事故が増加する時期を前に、ツシマヤマネコ応援団ではヤマネコ飛び出し注意看板の清掃と、ヤマネコが道路上を横断しないように、道路下の排水用暗渠(カルバート)の吞吐口を清掃して生き物のための通路作りを行いました。

ヤマネコの交通事故は二〇〇七年二月以降起きておらず、九月二十三日に無事故記録六〇〇日を突破しました。この記録を止めないため、センターではエコドライブバーズマニュアルとステッカーを配布し安全運転を呼びかけています。人にもヤマネコにもやさしいドライブを目指しましょう！



看板清掃の様子



カルバート清掃の様子

## 田んぼだよーん

今年からはじまった佐護での環境に配慮したヤマネコにも優しいお米づくりもいよいよ収穫の時期になりました。早米(コシヒカリ)の収穫は終わり、普通米(ヒノヒカリ)も半分くらい収穫が終わったころでしょうか？今年も冷夏で早米の収量は例年より少ないようですが、苦労して育てたお米はとても美味しいことでしょう。試験田で定期的に行ってきた生き物調査のおかげで、田んぼに害虫だけでなくいろいろな生き物がたくさんいることがわかってきました！田んぼって凄いですよ！！

田ノ浜地区では八月二十三日に第二回田んぼの学校が開催されました。親子連れなど約三十名が参加し、田んぼの草抜きをした後、生き物調査と盆団子作りを行いました。前回の生き物調査と比べ、生き物の種類も変わり、特にトンボ類が増えています。参加者が田んぼで遊んでいる姿をみると、田んぼって楽しいところなんだ！と実感させられます。田んぼとのふれあいによって多くの方に田んぼの重要性や、お米の大切さを感じてもらえるよう、これからも頑張っていきたいです。



草抜きの様子



生き物調査



Ag Reinger  
山本かゆく

6回

## 対馬の守人

## 対馬市福岡事務所

対馬市福岡事務所は、今年4月博多駅前にオープンしました。武末所長(写真中央)、阿比留さん(同左)、早田さん(同右)の3名が、福岡をはじめとする北部九州を対象に、対馬の観光・物産のPRや企業誘致、情報収集を行っています。

福岡事務所の様々な活動を通して紹介する、対馬の海産物、はちみつ、木製品などは先々で好評をいただいているそうです。それらは、対馬の自然の恵みによってもたらされたもの。つまり対馬の自然が評価されているということです。素晴らしいですね。

対馬の物産が島外で評価・消費されれば、対馬の経済が活性化し暮らしが豊かになります。そのためには、対馬に豊かな自然が存在し続けなければなりません。そのかけがえのなさを対馬市民に伝えるのも、対馬市福岡事務所の仕事です。

対馬市福岡事務所レポート <http://tsjfuk.exblog.jp/>



対馬市福岡事務所の皆さん

## センター用語

暗渠…覆いをした水路のことで、灌漑や排水のために地下に設けられた溝。野生動物が通路として使用することがある。

# センター News

とらやまの森 No. 46 2009 秋号



## イベント報告&情報

### ー自然ふれあいイベント報告ー

7/12 (日) 草木染め

タマネギやビワの葉で草木染めをしました。参加した方には出来上がった染物の色や模様にとっても感動していただきました♪



草木染め



上手に出来たよ

8/9 (日) ヤマネコ博士学校

ヤマネコのウンチの中身を調べました☆  
最初は「ウンチ臭い!」と言って嫌がっていた子も、最後には野生のヤマネコって色んなものを食べているんだ!とうれしそうでした。



ウンチの中身調べ!



何を食べてるんだろ?

9/20 (日) ネズミの骨ってどんなだろ?

ヤマネコが主食としているネズミ。そのネズミの骨を調べてみました☆小さな骨がたくさんととても大変でした(++)

### 捨てペット防止キャンペーン実施

8/22 (土) に上対馬町大浦のスーパータケスエで、29日に美津島町のパルで『捨てペット防止キャンペーン』が行われました。その日はヤマネコの『ろくべえ』と『つばき』も参加して、ペットをきちんと飼ってもらうようお願いしました。



キャンペーンの様子

日本大学生物資源科学部博物館  
でヤマネコ展開催

10月24日から11月28日の間、  
日本大学ツツマヤマネコの企画  
展示を行います!近くにおこ  
しの際は是非来て下さいね♪

## 2009年度下半期ふれあいイベント予定

10月25日 (日) 『とり観察会with野鳥の会』 

時間: 10:00~12:00 参加費: 100円 集合場所: 上対馬佐護バードウォッチング公園  
対馬野鳥の会のみなさんと秋の渡り鳥を観察しよう☆オオタカが観察できるかも!?

11月8日 (日) 『龍良山の神秘』 

時間: 13:30~15:30 参加費: 100円 集合場所: 巖原町龍良山麓自然公園駐車場  
講師に長渡稔治氏を招き、龍良山を散策しながら対馬の自然を体感しよう!

12月12日 (土) 『草で作ろう!エコ年賀状』 

時間13:30~15:30 参加費: 無料 場所: 美津島町公民館  
千俵蒔山の草でエコ年賀状を作ろう☆

1月17日 (日) 『とらどしのはなし』 

時間: 13:00~15:00 参加費: 無料 場所: 上対馬地区公民館 講師: 中西 希  
2010年の干支の『とら』についてゲームを交えて楽しく学ぼう!

イベントの参加には事前の予約が必要ですよ。申込・お問合せは担当: 大谷 (おおや)・杉山まで。

### 編集後記

山々も少しずつ色づいて、あちこちに秋を感じる季節になりましたね♪今年夏は夏が来なかった…と嘆く声が聞かれましたが、秋はちゃんとやってきて一安心です。読書の秋、食欲の秋…色んな“秋”を満喫しましょう!



今日の一枚  
『ダンギク』  
のダンギクは、丘陵地近くの産地から草地に生える多年草です。色は八月から十月に紫の段状の花をつけ、十センチくらいです。高さは二十センチから三十センチくらいです。特に美しいので、栽培でも人気があるようです。これからの季節、鳥のおちらこちから代表花ともいえます。

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。

★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

# とらやまの森

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>

## センター展示改修始動!

2010 冬号  
NO.47



## 2010年春 完成予定

現在の対馬野生生物保護センター展示室



ラウンジゾーンイメージ図(予定)



ガイダンスゾーン イメージ図(予定)

**対馬野生生物保護センター  
十二年ぶりに生まれかわる!**

今年一月から三月(詳しい時期は未定です)まで、対馬野生生物保護センターの展示改修工事が行われます。一九九七年八月の開館から皆さんに親しまれてきました展示ですが、開館以降ツシマヤマネコの保護活動の幅も広がり、全面的に展示を改修することになりました。

最新のヤマネコ保護活動を発信できる更新型展示や、体験できるハンズオン展示、薪ストーブのある団らんスペースなど、楽しみながらヤマネコについての理解を深めていただけるような、工夫をこらした展示へと生まれ変わります。何度来ても新しい発見があり、皆さんが自然と集まって談笑したくなるようなセンターにしていきたいと思えます!

工事期間中の一〜三月はセンターの中には入れなくなってしまうですが、公開中のツシマヤマネコ「福馬」のケージは極力お見せできるようにしたいと考えています。「福馬」のケージ付近も改修予定なので、お見せできない期間も出てきてしまうかもしれませんが、ご了承ください。

詳しい開館情報は、センターHPやCATVでお知らせいたします。工事期間中は何かとご迷惑をおかけしますが、改修後は皆さんに「あつ」と言わせるような展示にすべく、センター職員で検討中ですので、楽しみにしてください!

## ヤマネコ亜成獣の保護・收容続く

十二月七日、豊玉町仁位でヤマネコを発見したとの連絡があり、センターで保護しました。また、十二月八日峰町志越で、交通事故により死亡したヤマネコをセンターに收容しました。どちらも親離れして間もない亜成獣でした。

六七五日間というセンター開所以来の最長無事故記録も、残念ながら途絶えてしまいました。将来有望な若いヤマネコが事故にあうのは悲しいことですが、生きていれば治療できますし、死んでしまっても原因究明ができます。通報して下さった皆様に深く感謝し、今後のヤマネコ保護に活かしたいと思っております。



保護されたMn-43

## ツシマヤマネコ交通事故ゼロ記録看板設置

ツシマヤマネコ応援団では、十月にトヨタ環境活動助成プログラムの一環として対馬市交流センターとスーパーパーティタケスエ上対馬店の二カ所に「ツシマヤマネコ交通事故ゼロ記録看板」を設置しました。残念ながら亜成獣の交通事故が起き、最長無事故記録はストップしてしまいました。ドライバーの皆様、これからも安全運転をお願いします。



ゼロ記録看板設置

## 福岡・対馬で 飼育下ヤマネコ死亡

### 福岡市動物園

No.六(♂)は、飼育下繁殖に参加させる目的で一九九八年に上対馬町で捕獲された初のメス個体でした。残念ながら繁殖には成功しませんでした。福岡市動物園では二〇〇四年から展示個体として活躍していました。飼育員の間では「ばあちゃん」と呼ばれて親しまれており、小さい体と潤んだ瞳が愛らしいヤマネコでした。推定年齢が十四歳以上と、おそらくツシマヤマネコとしては最長寿だったと思います。福岡市動物園の職員の方々のおかげで大往生できたと思います。

### 対馬野生生物保護センター

No.三十(♀)は二〇〇五年にNo.一(♂)とNo.九(♂)との間に生まれ、幼獣のときに事故で左前脚を失うといった不運に見舞われましたが、二〇〇七年にセンターに来てからは、持ち前の気の強さと食欲旺盛ぶりです。日を過ごしていました。

十月四日、突然左右の瞳孔不整やふらつき等の神経症状が見られ、即入院となり治療をうけることになりました。しかし回復の兆しは見えず、原因究明のため島外まで運んで精密検査を受けましたが、対馬に帰ることはできませんでした。四歳という短い時間で逝ってしまったNo.三十の冥福を祈ります。



No. 30

## 職員日誌⑧ 『対馬に来て早2年半・・・』

あっという間に過ぎました。対馬に来るまでコレといった趣味もない人生を過ごしてきましたが、センターに入り「新人は国境マラソンを走らなければいけないのがヤマネコセンターのルール」と吹き込まれ、ハーフマラソンに挑戦！それ以来走ることに目覚め、今一番の楽しみは国境マラソンと対馬縦断駅伝に参加することっ！

むかし、『趣味がある人生は素晴らしい』と無趣味の父さんが言っていたことを思い出します。『どんな趣味が楽しいのかな？』と思っていたあの頃。『趣味は探すモノじゃない』とも言ってたっけ。

来年の参加が最後になるのは残念ですが、今から本当に楽しみです♪



対馬縦断駅伝で疾走！

アクティブ もてき  
レンジャー：茂木  
(出身地：新潟県)



学生の頃からツシマヤマネコを研究、センターでは主に調査・研究業務を担当！  
趣味はケーキづくりと走ること♪

## 第4回ヤマネコ・クイズ！

ツシマヤマネコを見分ける一番の特徴は何でしょう？



# 対馬の環 News



## 市民参加の森づくり

十一月七日上対馬町舟志の旧舟志小中学校校庭で、ツシマヤマネコ応援団による「市民参加の森づくり二〇〇九」が開催されました。約五十人の参加者が、どんぐりを仕分けして種類毎に植えるなどの作業をし、植樹が行われた舟志の森で苗の生長を見学しました。今回植えたどんぐりは、三年程で植樹できる大きさに育ちます。



どんぐり仕分け

## やまねこ音楽祭

続いて同小中学校の校庭と校舎内で「舟志の森 やまねこ音楽祭」が開催され、約百十名の参加者が多彩なゲストによる和太鼓、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロックや幕間の「ヤマネコクイズ」を楽しみました。センターの水崎保護官も、華麗なバイオリン演奏を披露しました。



音楽祭出演者

## 内山盆地まつり

十一月十五日には厳原町内山で「内山盆地まつり」が開催され、センターからはツシマヤマネコのパネルを出展しました。ツシマヤマネコの「つばき」も餅つきに参加し、厳原の皆さんにヤマネコの事を身近に感じていただけたのではないかと思います。



つばきも参加

## 収穫の秋

### 佐護小学校「田んぼの楽校」

十月二十日に生き物調査・二十一日に稲刈り・二十九日に脱穀作業をしました。秋の田んぼにはカヤネズミの巣がたくさん見つかり、生き物調査をしていたらたくさんのトンボが周りを飛んでいました。お米を作ることは多くの命を育んでいることを学んだ田んぼの楽校になりました。



生き物調査

### 試験田の収穫

十月二十五日に上県町田ノ浜地区でお米の収穫が行われ、十一月八日には餅つきが行われました。赤米や黒米、古代米など五種類のお米が収穫できました。参加者は自分が育ててきたお米を収穫し、ついたお餅を美味しく食べました。みんな田んぼが大好きになってくれたようです。



餅つき 豊作でした!

環境に配慮したヤマネコにも優しいお米作りも無事収穫を迎えることができました。今年も田植えからはじまり、生き物調査など田んぼに目を向ける機会が多い一年でした。そして田んぼからとても多くのことを学ぶことができました。来年の田んぼも楽しみですね♪



手刈りでの収穫



Agレンジャー  
山本がゆく

## 対馬の守人

長崎新聞対馬支局長

田中 祐作さん

2006年4月の赴任以来、ツシマヤマネコ関係で書いた記事は170本以上。中でもご本人が特に印象深かったのは、2007年に下島でヤマネコが23年ぶりに見つかったニュースだそうです。この記事は長崎新聞では1面トップに掲載され、全国レベルでも大きく話題になりました。

島への赴任は対馬が初めて。魅力溢れるこの島の沢山のことを知りたくて、色々な所に取材に行きました。また、磯焼けの取材では海に潜り、燃料価格高騰の際にはイカ釣り漁に同行するなど常に現場を大切にしています。本業以外にも、「舟志の森やまねこ音楽祭」では実行委員会の副委員長を務め、コントラバス奏者(写真)として参加。『対馬を良くしたい』と自ら活動し、そうした市民を積極的にとりあげ応援してくれる記者さんです。



コントラバスを演奏中

# センター News

## イベント報告&情報

### —自然ふれあいイベント報告—

10/25(日)とり観察会with野鳥の会  
野鳥の会のみなさんと秋の渡り鳥の観察会をしました。  
ノスリやハイタカ、クロヅルなどたくさん鳥を観察することができました★



野鳥発見!?

11/8(日)龍良山の神秘  
エコツアーガイドの長渡先生に龍良山を案内していただきました。森にまつわる色々な話を聞かせていただき、龍良の自然を満喫した1日でした。



龍良山を散策♪

12/12(土)草で作ろう!エコ年賀状  
美津島町公民館で千俵蒔山の草をつかってエコ年賀状を作りました。  
それぞれステキな年賀状ができあがりました!

### 総合学習の時間でヤマネコについて一緒に学習した学校↓



比田勝小学校

南陽小学校

今里中学校

大船越小学校

豊玉高校

### ツシマヤマネコ保護増殖事業実施方針 パブリックコメント・地元説明会

ツシマヤマネコの保護増殖に関わる行政機関が、今後のヤマネコ保護対策の方針を策定する予定です。1月はパブリックコメントと地元説明会を行い、皆さんからのご意見を募集します。ツシマヤマネコの保護について日頃お考えのことなど、率直なご意見をお待ちしております。

日にち: 1月24日(日)

場所(時間): 上県地区公民館講堂場所(10~12時半)  
対馬市交流センター3階大会議室  
(16~18時半)

詳しくは折り込みチラシや対馬野生生物保護センターHP (<http://twcc.cool.ne.jp/>) をご覧ください。

### —島外でのイベント報告—



ヤマネコ展の様子

日本大学生物資源科学部  
博物館でヤマネコ展!  
10/24~11/28に日本大学の博物館でヤマネコ展が開かれました!学園祭では試験田で作ったヤマネコ米を販売し、島外の方にツシマヤマネコを知ってもらえるいい機会になったと思います。



ヤマネコ祭

井の頭自然文化園でヤマネコ祭♪  
11/22(日)に井の頭自然文化園で「ヤマネコ祭」が開かれ、対馬についての講演会やセンターの活動紹介パネルが展示され、ヤマネコグッズやヤマネコ米の販売を行いました。

対馬市CATVで  
「つばきちゃんと一緒に」放送中

毎月第2・第4水曜日18:30~つしまる通信内で「つばきちゃんと一緒に」放送中  
ヤマネコについてのクイズやセンターでの取組みなどを紹介しています★

ぜひ見てね!

## 2月11日(木) 『ネイチャークラフト教室』

時間: 13:00~15:00 参加費: 無料 場所: 対馬野生生物保護センター  
対馬の木やどんぐりを使ってなべしきや小物を作ってみよう★



## 4月4日(日) 『千俵蒔山 春の植物観察会』

時間: 10:00~12:00 参加費: 100円(保険代) 集合場所: 上県町井口浜海水浴場前  
植物に詳しい國分英俊先生を講師に迎えて、春の千俵蒔山の植物を観察します。

イベントの参加には事前の予約が必要です。申込・お問合せは担当: 大谷(おおや)・杉山まで。

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます!みなさまのおかげでセンターも開館して13年目を迎えることができました。今年もやまねこセンターをどうぞよろしくお願いいたします♪



今日一枚  
『ヤブツバキ』  
この季節になると咲き始めるのが椿です。対馬に群生するツバキ科の植物は、年間を通して七種類あります。樟崎公園では、赤色の可憐な花を咲かせる冬の椿(ヤブツバキ)が群生しています。センターに来館された際には、樟崎公園に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。赤く可愛い花が、皆様を迎えてくれることでしょう。

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。



# とらやまの森

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>

2010 春号

No. 48

下島で数十年ぶりに  
ヤマネコ保護！！



河内で保護された  
ヤマネコ

下島で保護されたヤマネコ

ヤマネコの保護 続く！

十二月二十八日に厳原町小浦で、ツシマヤマネコを保護したとの情報が九電工から対馬市役所を通じてセンターにあり、その後、対馬市職員が保護センターで収容しました。このヤマネコは雄の亜成獣で、痩せて衰弱していました。雄の亜成獣で、治療・看護の結果、現在は回復しつつあります。下島でのヤマネコ保護は、実に数十年ぶりとなります。

下島では、ヤマネコだと思われる糞等の痕跡は一九九〇年代まで確認されていましたが、二〇〇五年度公表の生息状況調査では確実な生息情報は得られていませんでした。しかしその後の自動撮影カメラ調査によって、二〇〇七年三月に二十三年ぶりに確実な生息が確認されました。

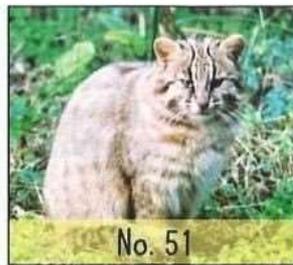
このヤマネコを野生復帰させるか飼育下繁殖に参加させるかについては、専門家の意見などを踏まえて検討しています。また、保護された地点周辺では重点的に痕跡調査を行い、ヤマネコの生息状況を確認しています。

一月二日には上対馬町河内でノラネコに襲われていたツシマヤマネコを保護したという連絡があり、その後センターで収容しました。このヤマネコは雌の亜成獣で脱水や栄養不良、ノラネコによる咬傷や神経症状が見られました。このヤマネコは回復状況を見て、今後どうするか検討してゆきます。

# やまねこ News

## ヤマネコ佐世保へお引越し

現在、四カ所の動物園でツシマヤマネコの繁殖や一般公開を行っています。そして今春、新たに佐世保市亜熱帯動植物園での繁殖が決まり、センターから二頭の雄ヤマネコが移動しました。来園者に少しでもヤマネコのことを知ってもらえるよう、繁殖など様々な面で活躍してほしいと思います。



No. 51



No. 22

## 飼育員の研修受け入れ

一月二十八日から約一週間、佐世保市亜熱帯動植物園のヤマネコ飼育員がセンターで研修を行いました。主にヤマネコの部屋の掃除や餌やりなど、ヤマネコの性格や特徴を捉えながら飼育業務を経験しました。

これから佐世保と対馬で連携をとりながら、ツシマヤマネコの飼育・繁殖に力を入れてゆきたいと思っています。



研修生の村山さん

## ただいま野生復帰訓練中!

前号でお伝えした豊玉町仁位で保護されたヤマネコは、保護直後に見られた貧血等の症状も順調に回復し、現在は再び野生へ帰るために、生きたネズミや鳥などを捕まえる訓練を行っています。野生復帰後は、元気に暮らしているかどうかを確認するための調査も行う予定です。



訓練中のヤマネコ

## ヤマネコ 交通事故で死亡

一月十一日上県町鹿見で、交通事故により死亡したヤマネコを収容しました。健康状態の良い雄の成獣で、おそらく狩りも上手く、繁殖にも参加していたと考えられるだけに残念です。

また、三月二十一日峰町櫛で、交通事故により死亡した雄の成獣のヤマネコを収容しました。交通事故が続き、大変残念です。

## 交通事故防止移動式看板設置

ヤマネコの交通事故が発生した場所（峰町志越・上県町鹿見）に移動式看板を設置しました。道路付近に迅速かつ自由に移動できる注意看板を設置することで、事故地点における再発防止や目撃地点における未然防止に努めたいと考えています。



見たら減速して下さい

## 職員日誌⑤ 『2010年 春 ♪』

春はヤマネコにとって出産シーズン。今も対馬の山のどこかでお母さんヤマネコが赤ちゃんを育てているはず。しかし野生のヤマネコがどのように出産・仔育てをするのかは、よく分かっていません。

これまでに何頭もの仔ヤマネコが生まれた福岡市動物園では、木製の巣箱の中で出産が行われます。巣箱にはカメラが取り付けられており、動物園の飼育スタッフはカメラの映像を通して仔育てを見守ります。

今年は何頭ものヤマネコが対馬で、あるいは全国の動物園で生まれるのでしょうか？無事に生まれ、元気に育ってくれますように…。

※福岡市動物園の映像はセンターで見ることができます

アクティング：山本  
レンジャー

(出身地：東京都)



獣医師。普段は、飼育ヤマネコの健康管理などをしています。

### 第5回ヤマネコ・クイズ!のこたえ

ツシマヤマネコを見分ける一番の特徴は何でしょう?(答え:耳のうしろの白い模様)

# 対馬の環 News



## 動物たちの通路 完成!

二月二十八日に小鹿トンネル周辺のカルバートで、ヤマネコをはじめとする動物たちのための足場づくりを行いました。このカルバートには常に水が溜まっている所があり、動物たちが通行できない状態でした。

今回足場を設置したことでカルバートが動物たちの通路となり、道路上に出てこなくなることを期待しています。



完成した足場

## 佐護小学校「田んぼの楽校」

二月十九日に佐護小学校で「田んぼの楽校」の学習発表会が行われました。「田んぼの楽校」では、泥んこ学習・田植え体験・生き物調査・稲刈り体験・脱穀体験を行ってきて今回の学習発表会となりました。

発表会では「お米をつくる工程」や「昔のお米作り」、「世界のお米」など一年間を通して感じたことや、疑問に思ったことなどを調べて発表してくれました。



発表会のようす

## ツシマヤマネコ保護増殖事業 実施方針決定!

三月八日に、ツシマヤマネコ保護増殖事業実施方針が策定されました。この中には、どうしたらヤマネコを保護できるのか、これまでどういった保護対策が行われてきたのかといったことが書かれており、今後の全てのヤマネコ保護活動の基礎となるものです。実施方針はセンターのホームページにも載っていますので、是非読んでみてください。



## リニューアルオープンしました!

前号でもお伝えしたとおり、今年の一ヶ月三月まで展示スペースを改修していたやまねこセンターが、四月一日にリニューアルオープンしました。休館中はみなさまにご迷惑をおかけしましたが、新しい展示には触れられる展示や、くつろぎスペース、薪ストーブなど見所がたくさんあります。

GWには対馬の生き物地図を作るイベントを行う予定です。ぜひセンターまで足をお運びください!



新しくなりました!



異動のあいさつ

大谷

## 3年間ありがとうございました☆

2007年4月に初めて対馬に来て、初めてツシマヤマネコに出会いました。「イエネコよりも可愛いな〜」と思ったのを覚えています。そんなヤマネコをもっと多くの人に知ってもらうための活動が私の仕事でした。小学校や中学校、時には高校に行きヤマネコの事をお話させてもらったり、毎月イベントを開催したり、地元の方と環境に配慮したお米づくりをしたり、センターの展示物を作ったりと色々な仕事をさせてもらいました。対馬は自然が豊かで、バードウォッチングが趣味になりました。他にもバスケットやパレーをしたり、縦断駅伝にも出させてもらいました。

知ってる人もほとんどいない対馬でしたが、優しい地元の人たちと、ツシマヤマネコと3年間過ごせたことは私の宝物です。本当にありがとうございました。



田植え



生き物調査



ふれあひイベント

### センター用語

※カルバート…道路下にある排水用のコンクリート管。動物たちが移動経路として利用していることがわかっている。



# とらやまの森

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>



豊玉町で  
元気にやっています!!!



※野生復帰地点近くの自動撮影装置に映ったヤマネコ!

## ヤマネコの野生復帰情報

昨年十二月七日、豊玉町仁位で保護されたヤマネコは充分に体調が回復した後、野生復帰に向けた訓練を行いました。訓練の中では、草むらに隠れたネズミを素早く捕らえる狩りの様子も確認されたので、保護から約四ヶ月経った今年四月十四日、野生復帰することになりました。保護された仁位付近の山中にて放獣されたヤマネコは、元気よく森の中へ駆けて行きました。このヤマネコには首輪型の発信機を付け、追跡することで野生に帰った後の様子をモニタリングしていきます。しかし、追跡調査だけではヤマネコの健康状態が分からないため、野生復帰から一週間後の四月二十一日、検査捕獲を行いました。このように野生復帰させたヤマネコを検査のために再度捕獲することはセンターとして初めての試みでした。捕獲は見事成功し、直接ヤマネコの身体に触れ、採血などによる検査を実施して、軽い傷を治療することもできました。六月一日に実施した二度目の検査捕獲では健康が確認され、ヤマネコが順調に野生で暮らしていることが分かりました。今後、追跡調査を継続しながら検査捕獲を行い、このヤマネコの健康状態を確認するとともに、得られたデータを今後の野生復帰に活かしていく予定です。

一方、今年五月十八日に上対馬町茂木にて保護されたヤマネコは、健康状態に問題がなかったため、五月二十八日に首輪型発信機を装着して野生復帰させましたが、現在は発信機の電波を確認できていません。茂木周辺で発信機を付けたヤマネコを目撃した場合は、センターまで情報をお寄せください。どうぞ宜しくお願い致します。

# やまねこ News



## ヤマネコの飛び出しに ご注意ください

六月八日、上対馬町浜玖須、網代方面分岐点近くでメスの亜成獣が交通事故に遭い死亡しました。今年三件目の事故です。このヤマネコは栄養状態も良く、将来は繁殖に参加して子孫を残すことができたのではないかと思われましたが、不運にも生まれて一年ほどで命を奪われてしまいました。

また六月十九日には、上県町深山で仔ヤマネコ二頭と親ヤマネコ一頭が目撃されています。毎年、夏〜秋はヤマネコの仔育て期にあたり、仔ヤマネコは車への警戒心が低いために、道路に飛び出してくる可能性があります。

対馬野生生物保護センターでは、ヤマネコの交通事故発生現場や目撃情報多発場所へ「ヤマネコ飛び出し注意」と書かれた移動式の看板を設置していますので、ドライバーのみならずは十分に注意して運転してください。



移動式看板。見かけたら減速を！

## 動物園のヤマネコたち

春に対馬から二頭のオスヤマネコが引越した佐世保市亜熱帯動植物園に、福岡市動物園から二頭のメスのヤマネコが移動しました。秋にはもう一頭のメスを福岡から受け入れ、今年の冬はオス二頭、メス三頭で繁殖に挑戦します。

ヤマネコたちは繁殖用の非公開放で飼育されているためご覧いただけませんが、佐世保には対馬馬・ツシマジカ・対馬地鶏など対馬の仲間が揃っています。ぜひ遊びに行ってくださいね！

今年、福岡で二頭、富山で三頭のツシマヤマネコの仔ネコが生まれましたが、残念ながら五日以内に亡くなってしまいました。来年の春こそ、全国でツシマヤマネコが起きることを願っています。



佐世保に引越したヤマネコ



佐世保市亜熱帯動植物園の対馬の生き物たち

## 職員日誌 ⑥ 『畑のやさいたち』



対馬に来てから1年半…。いろんなことを体験させてもらっていますが、対馬にきて新しくはじめたことの一つに野菜づくりがあります。去年の秋から、近所の方に畑をお借りして野菜づくりをはじめました。

今はミニトマト、ナス、ピーマン、枝豆、落花生、キュウリを作っています。芽が出るかな～？ちゃんと育つか～？という不安をよそに、野菜たちはぐんぐん成長して、とうとう実がなりはじめました！！この調子だと収穫の日も近そうですね☆野菜たちの力はすごい…と日々思うのでした。



落花生



トマト

事務補佐員 ♡ 杉山  
(出身地：大阪府)



CATVの番組収録や田んぼの楽校を担当！最近、田んぼ足袋を買いました

### 第6回 ヤマネコ・クイズ！

ヤマネコが独り立ちをする季節はいつでしょう？

# 対馬の環 News



## 春の交通安全

### キャンペーン実施



運転者講習会

今年も、対馬北署、交通安全協会の協力をお願いいただき四月六日、八日の三日間、ツシヤママネコ交通安全キャンペーンを実施しました。キャンペーンにはツシヤママネコの着ぐるみ「つばき」と「ろくべえ」も駆けつけました。ドライバーの方へステッカーとドライバーズマニュアルを配布して「ヤマネコの飛び出しに注意し、ゆとりを持って運転してください」と呼びかけました。

また、四月八日には、中対馬開発総合センターで開催された運転者講習会に参加し、ヤマネコの交通事故の現状や、ヤマネコとイエネコの見分け方についての話をし、事故に遭ったヤマネコを発見した場合センターまで連絡をいただくようお願いしました。



キャンペーンの様子

## 田んぼだより〜春〜

センターでは、ヤマネコの生息環境の一つである田んぼを守る取り組みを行っています。

今年も五月二十四日に佐護小学校で田んぼの楽校が、六月五日に田の浜地区で対馬ヤマネコ田んぼの学校が開校しました！これまでにとろんこ学習や手植え、生きもの調査などを行ってきました。素足で入った田んぼの温かさと、腰をまげて行う手植えの辛さに、お百姓さんの偉大さを感じました。手間をかけて育てた自分のお米はきっと美味しいことでしょう。今から収穫が待ち遠しいですね！

佐護地区でも昨年に引き続き環境に優しいお米づくりが始まりました。去年よりも増えた試験田で、田んぼの生き物調査や、ヤマネコの痕跡調査を行う予定です。今年も去年の冬に冬季湛水した田んぼもあるので、どんな違いがでるのか楽しみです。



第1回生き物調査



佐護小学校 田んぼの楽校



対馬ヤマネコ田んぼの学校

新任のご挨拶

これからよろしくお願ひします!!



はじめまして。4月からやまねこセンターで働く事になりました、一條みろと申します。

初めて対馬を訪れたのは平成18年。センターが主催する「夏季学生実習」の実習生として、様々な事を学ばせて貰いました。実習中に聞いた「対馬もヤマネコも」というフレーズが非常に印象に残っています。

センターでは、ツシヤママネコを多くの人に知って頂くための普及啓発活動や、人とヤマネコが共存できる地域社会づくりのお手伝いをさせて頂いています。

対馬に来て3カ月。小学校に田んぼに展示作りに草刈りに…と、慌ただしく過ぎていく毎日を楽しんでいます。町あるきが好きでよく歩いていますので（目標は島内に点在する八十八か所の踏破です!）、見かけた際は、お気軽に声を掛けてください。

まだまだ新参者ですが、どうぞよろしくお願ひします!!

### センター用語

冬期湛水…冬に田んぼに水をはると、イトミミズやプランクトンなどの生き物が増え、鳥たちの憩いの場になる。

# センター News

## イベント報告&情報

### ー自然ふれあいイベント報告ー

5/1～5(GW) 「地球のいのち、えがいてみよう」  
 おりがみで対馬の生き物たちを作って、素晴らしい対馬の生き物MAPが出来上がりました。

6/13(日) 「あじさい祭り de クイズラリー」  
 ヤマネコクイズで、見事に全問正解し賞品をゲットする人も！大変盛り上がりしました。



生きものMAP完成!



あじさい祭り♪

### ー島外でのイベント報告ー

#### みどりフェスタ in 新宿御苑 (4/29)



みどりフェスタ

東京の新宿御苑でみどりフェスタが行われ、ツシマヤマネコのつばきちゃんもツシマヤマネコについてのブースを出展しました。みどりフェスタでもつばきちゃんは大人気でした!

#### 環境月間イベント in 熊本 (6/12)



折り紙を折る参加者

6月の環境月間に合わせ、熊本市で環境月間イベントが開催されました。センターからは、5月のイベントで行った「地球のいのち、えがいてみよう」展示を出展し、来館者も折り紙を折って参加しました。

### ー総合学習の報告ー



6/22 久田中学校



6/24 比田勝小学校

総合学習の時間を利用して、ヤマネコや対馬の自然・生き物について学びました!

#### 職場体験受け入れ

7/8・9日と佐護中学校2年生2名を職場体験として受け入れました。ヤマネコの飼育体験やヤマネコの検査の見学を行い、一生懸命仕事をこなしてくれました!



### リニューアルオープンイベント

4/1のリニューアルオープンイベントでは、つばきちゃんをはじめ、希少野生動物の着ぐるみたちが来館者を迎えました。記念すべき最初の来館者の方には記念グッズと賞状を贈呈しました。5/2はヤマネコ保護に貢献した方々に感謝状を贈る表彰式が行われました。センターはリニューアルオープン以来、たくさんの来館者で賑わっています!



表彰式



記念すべき1組目の来館者



#### 「地球のいのち、えがいてみよう」九州巡回展

九州の各地から集まった個性的な生物多様性の姿をどうぞお楽しみください!

日時:7月17日～8月13日 対馬野生生物保護センター  
 8月14日～8月29日 対馬市交流センター

対馬市CATVで

毎週水曜日10:00～17:00～22:00～で「つばきちゃんと一緒」放送中

「つばきちゃんと一緒」放送中 ヤマネコについてのクイズやセンターでの取組みなどを紹介しています★

ぜひ見てね!



## 8月7日(土) ヤマネコ博士学校 ☆痕跡調査編☆

ヤマネコが暮らす公園を歩いて、フィールドサインを探してみよう!!

## 8月21日(土) ヤマネコ博士学校 ☆追跡調査編☆

アクティブレンジャーとヤマネコの追跡調査と一緒に体験してみよう!

参加費:100円(保険代) 時間:13:00～15:30 場所:対馬野生生物保護センター

※イベントの参加には事前の予約が必要です。申込・お問合せは担当:杉山・一條まで!

### 編集後記

夏まっさかりですね! ヤマネコたちも暑さのせいかなんとかお疲れの様子…。海に行ったり花火をしたり、夏は楽しい事が目白押しですが、ケガには十分気をつけましょう☆



今日の一枚  
 「オオキンケイギク」  
 オオキンケイギクは海外から持ち込まれ、日本の生態系に被害を及ぼす「特定外来生物」に指定されています。鮮やかな黄色い色が、綺麗だからと庭や花壇に植えてお庭や花壇に植えては絶対にしてはなりません! 対馬野生生物保護センターにご相談

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。

とらやまの森

No 49

2010

夏号



★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

# とらやまの森

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>

## ツシマヤマネコ、大移動！！

2010 秋号  
No. 50



対馬野生生物保護センター

対馬野生生物保護センターへ



写真提供: No. 1・13・20/福岡市動物園 No. 39/富山市ファミリーパーク  
No. 18/よこほま動物園ズーラシア No. 45/井の頭自然文化園

ツシマヤマネコ、大移動！

もうすぐツシマヤマネコの繁殖シーズンです！ツシマヤマネコは冬の間に相手を見つけ、春に出産します。動物園にいるヤマネコもこれからお見合いの季節を迎えます。ヤマネコにも相性があり、相性が良くないと仔ネコは産まれません。

環境省では、これまでのお見合いの結果や親子関係を踏まえて、動物園と相談しながら毎年ペアリング計画を立てています。十月には、九頭のヤマネコが福岡市動物園、井の頭自然文化園、よこほま動物園、富山市ファミリーパーク、佐世保市亜熱帯動植物園と対馬野生生物保護センターの間で移動しました。対馬から福岡には、昨年末に下島の小浦で保護されたオスのヤマネコが移動しました。今年の春は、福岡で二頭、富山で三頭の仔ヤマネコが生まれましたが、残念ながら五頭とも誕生して数日以内に亡くなってしまいました。来年の春こそはたくさんの子ヤマネコが生まれ、元気に育つように祈っていただきます！

また、環境省では、動物園で増えたヤマネコを、野生のヤマネコがほとんどいなくなってしまった下島に放していくことを計画しています。動物園生まれのヤマネコは野生を知らないため、生き餌を獲るなど、自然界で生きていくための訓練をする「野生順化施設」の建設を計画し、予算要望をしているところです。無事に予算が通れば、平成二十五年度には施設が完成する予定です。動物園のヤマネコたちが自然に帰るためには対馬がヤマネコにとって住みやすい島であることが必要です！みなさんのご協力をお願いします！



## ヤマネコ検査捕獲&放獣



今年四月に豊玉町仁位で野生復帰させたヤマネコには首輪型の発信機を装着しており、センターでは追跡調査をしながら定期的に検査捕獲してヤマネコの健康を確認してきました。しかし、野生復帰から約四ヶ月後のある日を境に発信機の電波が受信できなくなり、ヤマネコの状態が確認できなくなりました。しかし一ヶ月後に自動撮影カメラで元気な姿を確認することができました。その後は再度検査捕獲と発信機付け替えを行いました。現在も追跡調査を行っています。



自動撮影に写ったヤマネコ

## ヤマネコの保護、相次ぐ！

上県町佐護で、八月十日、三十一日と若いヤマネコ（オス）が二頭保護されました。幸い二頭とも元気になったので、首輪型発信機を装着して九月十七日に佐護で野生復帰しました。その後、田んぼでカモを捕らえる元気な姿が確認されています。

一方、十月四日に上対馬町舟志で保護された仔ヤマネコは、保護当時は激しく衰弱していました。現在は回復し、センターで療養を続けています。



順調に回復中



佐護で保護されたヤマネコたち

## 対馬市ネコ適正飼養条例



七月一日に、飼いネコのマイクロチップによる登録を義務づける、対馬市ネコ適正飼養条例が施行されました！条例では、屋外に出る飼いネコの不妊処置義務と、自分の飼いネコでないネコへの餌やり禁止等が規定されています。マイクロチップ登録は現在キャンペーン中で対馬獣医師会に所属する動物病院では無料で受けることができます。ネコを飼っている方は、お早めに登録をお願いします。

八月二日には、条例施行を記念したシンポジウムが開催され、既にネコ適正飼養条例のある小笠原村、西表島、やんばる地域の関係者による各地の条例とネコ問題についての講演とパネルディスカッションが行われました。

七月に上県町中山で收容された仔ヤマネコの死体は、残された咬み跡から犬のDNAが検出され、犬にかみ殺された可能性が高いと考えられます。犬を飼っている方も、鎖で繋ぐなど、犬にも人にもヤマネコにも配慮して飼ってください。

## 仔ヤマネコ犬にかみ殺される

また、十月十五日に上対馬町豊で、仔ヤマネコの死体が收容されました。死因は衰弱死と考えられます。



条例普及啓発ポスター

## 職員日誌 ⑦ 『 当たり前なこと 』



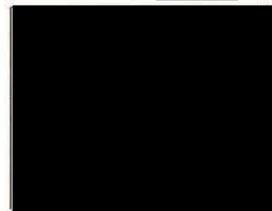
先日、外勤中に車を運転しながらふと感じたことがあります。そういえば…春は満開の桜、夏は真っ青な海と青々とした草木の緑、秋はたくさんの穂をつけた稲と田んぼに出てくるヤマネコ、冬は霜で一面真っ白になった田んぼ…毎日見る風景を当たり前のように受けとめているけど、実はこれってすごい！? 毎日の生活の中でこんなにも四季を感じられる場所に暮らせるって、私幸せだなあ♪と。

こんな風に四季を感じられる豊かな自然の中には、たくさんの生き物が共に暮らしています。このような状態のことを生物多様性と言い、国連により今年には国際生物多様性年（生物多様性を守り、持続的に利用していくためにはどうすれば良いかみんなで考えよう！という年。）に指定されています。

どんなことでも良いので、この機会に自分にできることを考えてみませんか？私は…まず今当たり前を受け止めている自然に感謝することから始めてみたいと思います！本当に、何でもいいんですよ☆

アクティブ  
レンジャー♡原□

(出身地: [redacted])



センターでは主に、交通事故対策などを担当！！畑で野菜も育てています♪

# 対馬の環 News



## 秋の交通事故防止 キャンペーン実施

警察署、長崎県、対馬市の協力のもと、九月二十一日から島内三箇所ですしマママネコ秋の交通事故防止キャンペーンを実施しました。キャンペーンでは「法定速度を守って、ヤマネコに注意して運転してください」とドライバーの皆さんに呼びかけました。



キャンペーンの様子

秋から冬は、ヤマネコにとって親離れと恋の季節にあたります。この時期は若いヤマネコや雄のヤマネコが活発に動き回るので、交通事故が多発する傾向があります。今年六月までに三件の交通事故が発生しており、センターではこれからの時期に交通事故が多発することを危惧しています。故意でない限り罪には問われませんが、ヤマネコをひいてしまった、事故に遭ったヤマネコを見かけたという時はセンターまでご連絡ください。

ヤマネコ交通事故発生件数



秋～冬に事故が増加！

## 田んぼだより〜秋〜

いよいよ収穫シーズン！この時期は地面に落ちた稲を食べにくるネズミなどが集まり、田んぼはヤマネコの餌場になります。

佐護小学校の田んぼの楽校では、三回の生きもの調査を行い、十月十五日に稲刈り・はざ掛けを行いました！去年と比べ暑かった今年は、どのくらいお米が獲れたのでしょうか！?

田の浜地区の対馬ヤマネコ田んぼの学校でも、草抜きや生きもの調査を行い、十月十七日に稲刈り、二十四日に脱穀を行いました。対馬の中のいろんな土地のお米の食べ比べも行われ、それぞれに違うお米の味を楽しみました。

佐護地区での環境に優しいお米づくりも四回の生きもの調査を行いました。益虫の多い田んぼや虫の種類が多い田んぼ等、田んぼにも色んな性格があるんですね。収穫した新米の味が楽しみ！



生き物調査の様子



手刈り体験☆



刈った稲は掛け干しするよ！

Ag・レンジャー  
山本がゆく



## 対馬の守人

かいこまるの漁師  
いさよし  
細井 尉佐義さん

長崎県北松浦郡出身。C.W. ニコルさんの教える専門学校で学んでいた頃、漁師になることを決意。各地の海を見に行きましたが、対馬の海と山に惹かれて上対馬に移住。「海子丸」で、サバ・マダイ・メバル・サワラ・ブリなどの一本釣り漁を営んでいます。

豊かに見える対馬の海でも、資源の枯渇が進んでいます。魚の命をいただいて生きる漁師、また一人の父親として、対馬の海と、海を育む森林を守り、子ども達の世代に残せるよう活発に活動・発言しています。

今年9月には、対馬在住歴9年目にして念願のツシマヤマネコを目撃！ヤマネコから「これからもよろしく」と言われたのかも！?

海子丸HP (ブログもあります!) <http://www.kaikomaru.com/>



海子丸

センター用語

ペアリング・・・動物園で飼育されているヤマネコ同士が繁殖のためにお見合いをすること！！

# センター News

## イベント報告&情報

### —自然ふれあいイベント報告—

7月25日(日)ヤマネコ博士学校～飼育編～

夏休みに合わせてヤマネコ博士学校を開催しました！1回目は飼育編。ヤマネコの餌やりなど、飼育員の仕事も体験してもらいました★



博士学校～飼育編～



博士学校～痕跡編～

8月7日(土)ヤマネコ博士学校～痕跡調査編～

2回目の博士学校は痕跡調査。棹崎公園を歩いて見つけたヤマネコのフンを洗い、野生のヤマネコが何を食べているのかを調べました！

### —普及啓発事業報告—

#### 夏季学生実習

今年もヤマネコの保護について学ぶ「夏季学生実習」を行い、ヤマネコに関心を持つ学生さんたち10名を受け入れました！調査方法やカルポート清掃、田んぼの学校のお手伝いからそば蒔きまでセンターの業務を体験してもらいました。ペットの適正飼養をお願いする「捨てペット防止キャンペーン」にも参加しました。



捨てペット防止キャンペーン



田んぼの学校

#### 野生動物医学会エクスカージョン

9月4日～5日、福岡で開催された「日本野生動物医学会大会」のエクスカージョンが対馬で開催されました。

ヤマネコの生息環境を知るために、舟志の森、やまねこセンター、稲作研究会試験田、田の浜…と、対馬に滞在した24時間(!)で様々な場所を回りました！島外の皆さんに対馬を知っていただく貴重な機会となりました。



参加者の皆さん



ヤマネコの糞に興味深々!!

### —切手シート贈呈式—

7月26日、郵便局株式会社九州支社様がツシマヤマネコの「オリジナルフレーム切手」を作成&販売をはじめました!!

1000シート作成された切手はあっという間に売り切れてしまいましたが、贈呈して頂いた盾がセンターに保管されています。興味のある方は見に来て下さいね!!(切手の販売は行っておりません)

#### 切手シート贈呈式



### 書籍のご紹介

「ツシマヤマネコって、知ってる? 絶滅から救え!!わたしたちにできること」  
著者:太田京子 出版社:岩崎書店

ツシマヤマネコについての新しい本が出版されました!!絶滅が心配されているツシマヤマネコにスポットを当て、私たちにできることを考えます。

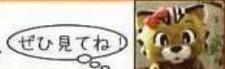


対馬市CATVで

「つばきちゃんと一緒に」放送中

毎週水曜日10:00～、17:00～、22:00～で「つばきちゃんと一緒に」放送中

ヤマネコについてのクイズやセンターでの取り組みなどを紹介しています★



ぜひ見てね!

### ☆ 対馬野生生物保護センター イベント案内 ☆

12月12日(日) 神秘の森をあるく!! 龍良山散策

信仰の山、龍良山を講師の長渡先生と楽しく歩きます♪

時間: 13:30～15:30 集合場所: 龍良山麓自然公園 (要予約)



1月23日(日) 棹崎公園探検!! アニマルトラッキング

棹崎公園を探検して、動物たちの暮らしをのぞいてみませんか?

時間: 13:00～15:00 集合場所: 対馬野生生物保護センター

※保険代として1回100円頂いてまいります。お申込・お問合せは担当: 一條・杉山まで!

### 編集後記

今回は号数にご注目!!とらやまの森は今号で50号を迎えましたよ

今後とも対馬島内外に、ツシマヤマネコをはじめとした様々な情報をお届けします!! これからもやまねこセンターと「とらやまの森」をどうぞよろしくお願いいたします!!



「セイタカアワダチソウ」  
夏号につづき、外来の植物を紹介しました。地下茎から他の植物の成長を邪魔する物質を出しながら、自分の勢力範囲を広げていくと言われています。この植物は、「外来生物法」で「要注意外来種」に指定されています。対馬の自然に影響を与えるので、除草剤や草刈りの際は、根までしっかり取り除いてください!!

★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。

とらやまの森  
No 50  
2010  
秋号

